

平成 27 年度

当初予算資料

市長公室

平成27年度 当初予算会計別総括表

単位:千円、%

区 分	平成27年度	平成26年度	増 減	対前年度比	
一般会計当初予算額①	12,711,648	13,058,080	△ 346,432	△ 2.7	
特 別 会 計 ②	3,811,183	3,674,945	136,238	3.7	
特 別 会 計 内 訳	国民健康保険事業	3,041,506	2,926,818	114,688	3.9
	後期高齢者医療事業	585,465	567,870	17,595	3.1
	青年の家事業	6,075	6,089	△ 14	△ 0.2
	市有林整備事業	25,844	25,043	801	3.2
	紀和診療所事業	75,897	74,141	1,756	2.4
	紀和地区水道事業	76,396	74,984	1,412	1.9
	水道事業会計③	694,767	620,674	74,093	11.9
合計(①+②+③)	17,217,598	17,353,699	△ 136,101	△ 0.8	

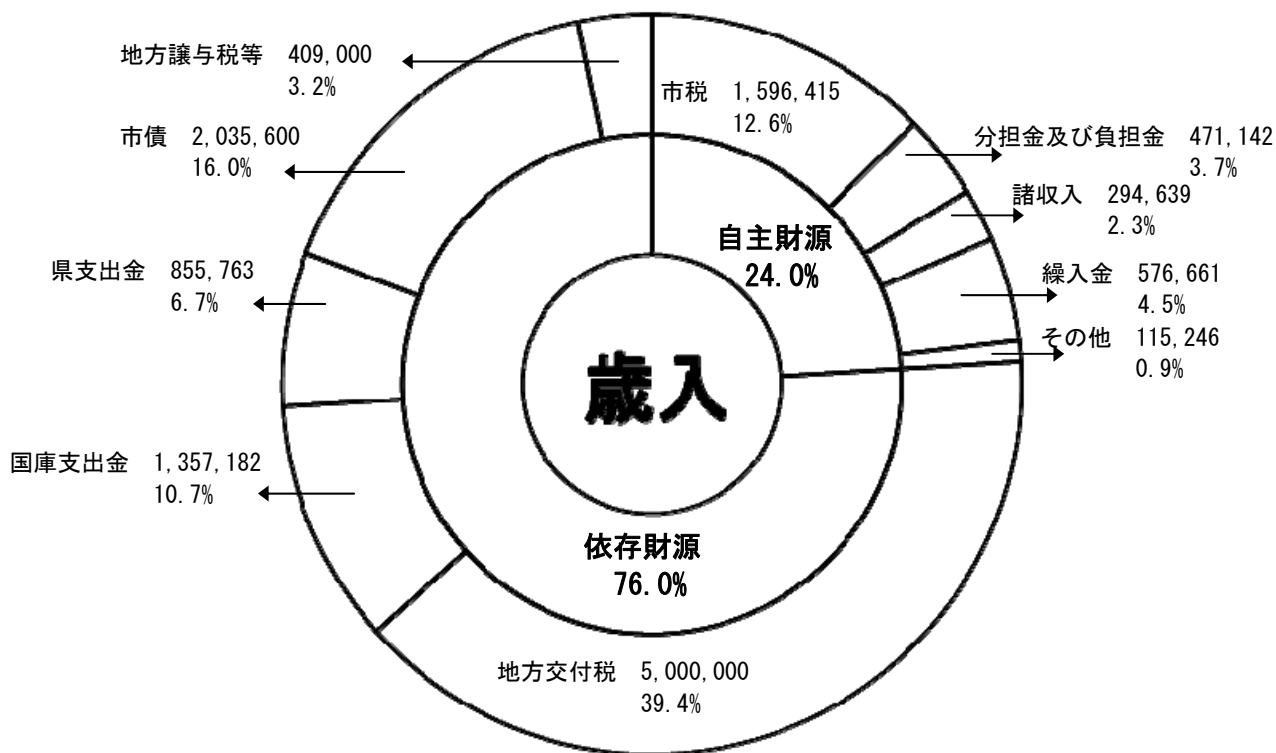
|

一般会計歳入予算の状況

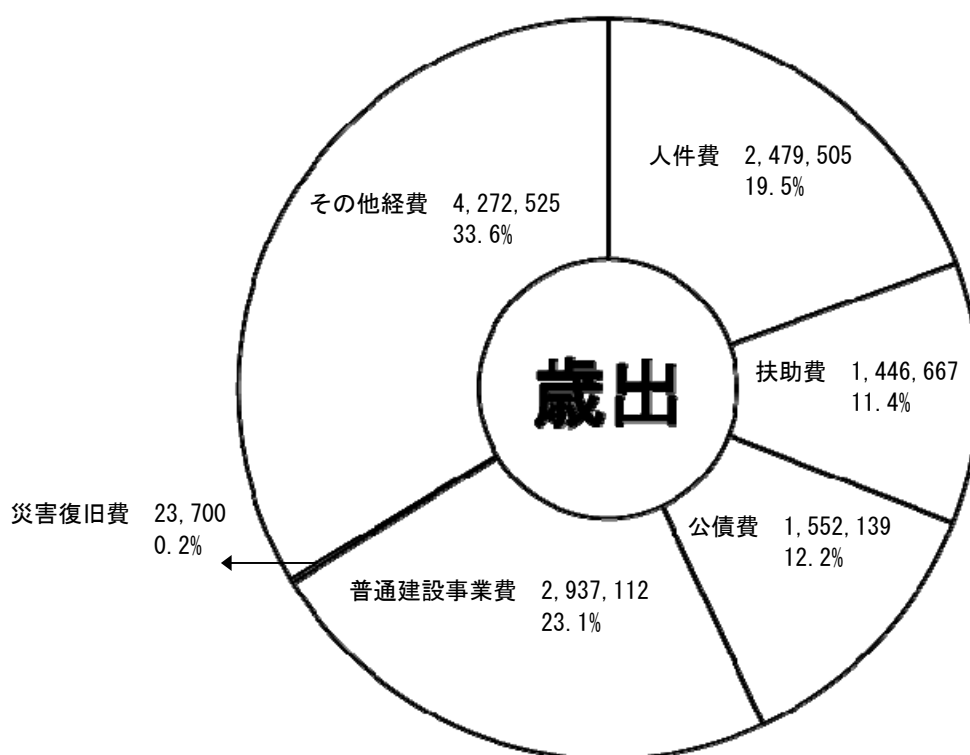
(単位：千円、%)

区 分	27年度当初 A	26年度当初 B	比 較		構成比
			増減額 A - B	増減率 A / B	
市税	1,596,415	1,646,869	△ 50,454	△ 3.1	12.6
地方譲与税等	409,000	314,500	94,500	30.0	3.2
地方交付税	5,000,000	5,000,000	0	0.0	39.4
分担金及び負担金	471,142	716,056	△ 244,914	△ 34.2	3.7
使用料及び手数料	92,637	92,939	△ 302	△ 0.3	0.7
国庫支出金	1,357,182	1,400,467	△ 43,285	△ 3.1	10.7
県支出金	855,763	856,200	△ 437	△ 0.1	6.7
財産収入	13,993	13,714	279	2.0	0.1
寄附金	3,616	2,700	916	33.9	0.0
繰入金	576,661	684,542	△ 107,881	△ 15.8	4.5
繰越金	5,000	5,000	0	0.0	0.0
諸収入	294,639	282,193	12,446	4.4	2.3
市債	2,035,600	2,042,900	△ 7,300	△ 0.4	16.0
合 計	12,711,648	13,058,080	△ 346,432	△ 2.7	100.0

一般会計歳入予算総額 12,711,648千円



一般会計歳出予算総額 12,711,648千円



平成27年度予算(一般会計)について

～人口減少対策のための産業振興・集客交流・子育て支援、安心して生活できるための高齢者福祉・防災対策・生活環境整備～

1. 予算の概要

平成27年度の予算は、

- (1) 平成27年度は、人口減少対策のための最大の課題が、働く場・雇用の場の創出であるとの認識のもと、高速道路開通に合わせてこれまで行ってきた産業振興・集客交流推進などの各施策に引き続き注力します。生産者の皆さんへの支援、事業者の皆さんとの連携を発展させるとともに、市内で最も大きな組織である市役所自ら、「株式会社熊野市役所」の発想で、全職員が厳しい現状に対する認識を持ち、大胆な発想・積極的な姿勢で様々な課題に取り組みます。また、U・I・Jターン定住促進、学校など未利用施設や空き家の活用、女性を始め若者のより一層の起業促進・事業拡大などの分野にも、前例にとらわれない新たな発想で積極的に挑戦し、市を挙げて活力再生を目指します。
- (2) また、少子化対策の要となる子育て支援・子供向けの各施策についても今以上の拡充を試みることはもとより、子育てしやすい環境づくりに力を入れるとともに、婚活推進の分野にも積極的に挑戦します。支え合い、助け合うまちの実現に向けて、高齢者が安心して生活できる環境の整備など福祉・健康づくり等にも引き続き力を入れます。
- (3) 全市民が生き抜くための防災対策事業については、各種生活環境の整備と並んで、市民が安心して快適に生活できる基盤であるため、ソフト面・ハード面の双方に必要な予算を確保します。

これらの重要課題に加え、教育・文化など市政の全ての分野における諸課題に的確に対処していくため、当初予算としては総額127億1,164万8千円の予算編成をしております。地方創生に関連する国の補正予算を活用した13か月予算においては、総額128億円を超え、市の人口規模からみて、過去最大だった前年度に引き続き、非常に積極的で超大型の予算編成にしております。

(1) 過去最大だった前年度予算に引き続いての超大型積極予算

平成27年度予算は、人口減少対策のための産業振興・集客交流・子育て支援、市民がいつまでも安心して生活できるための高齢者福祉・防災対策・生活環境の整備という6点を中心に、各分野の施策をこれまで以上に力強く前進させ、本市の目指すべき将来像「豊かな自然と歴史の中で人がかがやく、活力と潤いのあるまち・熊野」の実現にむけ、全力を挙げて取り組みます。

特に、地方創生に関連した国の補正予算を活用して、当市の平成26年度3月補正予算に計上する予定の各事業においては、人口減少対策のための都市部からの移住交流促進、未利用公共施設・空き家の活用、市外への輸出促進のための新たな特産品開発や販売力強化、少子化対策のための婚活支援、地域内の消費拡大など、積極的に施策を展開してまいります。

市民の視点・感覚に立った市民本位の行政運営を基本とし、経常的経費などについては、これまで以上に厳しく見直すことはもとより、適正な財源を確保するなど行財政改革の更なる推進に努めます。活動基準原価計算(ABC分析)の実施結果を活用し、職員一人ひとりが業務の効率化、コスト削減を十分に考慮し、前例にとらわれず積極的に事業を見直し、新しい発想でアイデアを生み出し、創意工夫を図ります。

このように編成を行った平成27年度当初予算は127億1,164万8千円となっております。当初予算と国の補正予算を活用した13ヶ月予算から災害復旧費を除いた実質的な予算額においては、総額128億円を超え、過去最大だった前年度に引き続き「超」大型の積極予算となります。同程度の人口規模の市と比較しても、約2割増となる超大型の予算です。(参考:全国の人口2万人前後の7市の平成26年度当初予算額の平均は約106億円です。)

新市誕生後は、平成18年度107億5,037万円、平成19年度112億4,738万9千円、平成20年度114億7,722万3千円、平成21年度117億4,484万7千円、平成22年度120億7,701万9千円、平成23年度121億2,718万9千円、平成24年度141億3,844万9千円(災害復旧費を除いた額123億4,634万8千円)、平成25年度127億2,829万9千円、平成26年度130億5,808万円と毎年度連続して超大型予算を編成しています。

(2)平成27年度の主な事業

①産業の振興「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

特産品づくりでは、地方創生関連事業として、新たな特産品づくりや販売力強化などに取り組むほか、地元産品の「輸出力」の強化に引き続き積極的に取り組みます。**集客・交流**では、ホテル瀬流荘の大規模改修や湯ノ口温泉施設周辺の整備を継続して実施するほか、都市部からの誘客を図るPR事業などを行います。スポーツによる集客をさらに拡大するため、ソフトボールをはじめ野球、ラグビー、ソフトテニス、柔道など各種大会・合宿の一層の誘致拡大、トレイルランニングレースや海水浴場魅力向上事業なども引き続き実施します。**農業**では、これまで実施してきたすきま野菜の栽培で事業者から引き合いの強かった農産物を栽培する「優良野菜産地化実証事業」、都市部の営業拠点販売の推進、移住交流推進を目的とした貸出農園事業などに新たにに取り組むほか、獣害対策や地域に根付く有能な新規就農者を確保し、生

産拡大、耕作放棄地解消を目指す「農業公社事業」などに引き続き取り組みます。**水産業**では、遊木漁港、磯崎漁港の基盤整備や水産物の消費拡大の促進などを、**林業**では、地元産材の利用拡大・輸出の推進や森林整備などに引き続き取り組みます。**商工業**では、中心市街地でのチャレンジショップ支援や産業力強化推進事業を新たに実施します。

②保健・医療・福祉の充実 「支え合い助け合う、健やかにいきいきと暮らせるまち」

高齢者福祉では、憩いのためのサロンを運営する「高齢者サロン事業」を拡充するほか、認知症高齢者等への支援のためのカフェ事業、啓発推進事業、徘徊SOSネットワーク事業に新たに取り組みます。また、一人暮らし高齢者世帯等の見守りの強化・推進に一層力を入れていきます。**健康づくり**では、ウォーキングの取り組みと健診・健康に関連した事業への参加に応じて、商品等と交換できる「健康増進ポイント事業」、男性にターゲットを絞った「男性のための肉体改造教室事業」などに新たに取り組みます。**少子化・子育て対策**として、出産後の育児不安を抱える人に対してサポートを行う「産後ケア事業」や井戸保育園の耐震化を新たに実施します。また、子育てを行っている世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境を整えるため「中学生・高校生等医療費助成事業」を、支援を要する子どもに対して支援を行う「こども発達支援室事業」も引き続き実施します。また、地方創生関連事業として婚活支援を大幅に拡充し、結婚を望む独身者を応援していきます。**医療体制**では、診療所の設備を充実させるほか、救急救命士の実習事業を拡充させ、救急医療体制の充実も図ります。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

学校教育では、児童生徒の集中力や忍耐力、相手を思いやる気持ちを育む目的で「学校における囲碁教室事業」に新たに取り組みます。外国語指導助手により英会話教室や英語イベントなどを行う「グローバル体験事業」や小学校で使用している社会科副読本「わたしたちの熊野市」の改訂も実施します。**学校環境の整備**では、山間部中学校の年度途中での給食実施、木本・有馬中学校の平成28年度からの給食実施を目指す「中学校給食実施事業」を行うほか、各小・中学校の改修事業を実施します。**文化芸術**では、市民会館、鉾山資料館の改修事業を行い、安心して施設を利用できるようにします。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

防災では、「地域ぐるみの災害時要援護者支援事業」、「福祉避難所資機材整備事業」、「災害対策本部再生可能エネルギー等導入事業」など合計で10の新規事業、3の増額事業に積極的に取り組みます。**市街地の整備**では、健康づくりと中心市街

地の活性化を目指す「スマートウェルネスシティ検討事業」や景観整備を新たに行うほか、**住宅・住環境**では、空き家の活用など都市部からの移住促進に積極的に取り組みます。**道路**では、生活に密着した道路の側溝や舗装修繕を実施する「側溝・舗装修繕事業」、適切な道路管理を行うために行う「橋梁定期点検事業」に新たに取り組むほか、新設・改良事業も引き続き実施します。**交通体系の整備**では、市街地・紀和町における交通弱者の不安解消を図るため乗合タクシーを運行し、市街地観光施設等を周遊させる「市街地山間部交通対策推進事業」を実施するほか、自主運行バス、福祉バスの運行も引き続き行います。**廃棄物処理**では、ごみの減量化、リサイクルの推進を図る「ごみ減量化市民行動計画事業」に新たに取り組むほか、すでに着手している「汚泥再生(し尿)処理センター建設事業」の完成を目指し、工事を継続して実施します。

⑤「まちづくりの進め方」

新鹿、久生屋、飛鳥町滑地の各公民館・集会所の修繕事業をおこないます。また、平成27年度は旧熊野市と紀和町が合併して10周年を迎えるため、記念式典を開催します。平成23年紀伊半島大水害によって被害を受けた五郷ふれあい公園内施設の復旧を支援し、地域コミュニティの育成強化を図るほか、地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により、防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めるため、「あいさつ運動推進事業」にも引き続き積極的に取り組みます。市議会議員の調査活動能力向上のため、研修や視察時の旅費と負担金等を支給する「議員調査活動能力向上事業」も新たに実施します。

2. 歳出予算の特徴

(1)義務的経費

義務的経費(人件費、扶助費、公債費)については、対前年度比3億478万円、5.3%減の54億7,831万1千円となっており、予算全体の43.1%を占めています。

人件費につきましては、定年退職予定者の増により職員退職手当が2,032万円の増額となるなどの影響により、1,319万7千円の増となっています。

扶助費につきましては、臨時福祉給付金支給事業の減額等により、1億4,154万6千円の減となっています。

公債費につきましては、市債償還額が1億1,479万6千円の増となっておりますが、平成26年度に引き続き将来の財政健全化のため実施する繰上償還が2億6,786万4千円の減となることなどから、トータルで1億7,643万1千円の減の15億5,213万9千円となります。

(2) 普通建設事業費

普通建設事業費については、新規事業では、「側溝・舗装修繕事業」、「中学校給食実施事業」など、継続事業では、「ホテル瀨流荘大規模改修整備事業」、「湯ノ口温泉施設周辺整備事業」、「防災公園整備事業」、「汚泥再生(し尿)処理センター建設事業」などを予算化しています。

トータルでは、29億3,711万2千円(前年度比7,675万6千円減、2.5%減)となっています。

(3) その他経費

義務的経費及び投資的経費を除くその他経費については、社会保障・税番号制度への対応経費などの増により、トータルでは5,280万円の増となっています。

(4) 地方創生関連事業

(事業費、事業内容についてはP11～P12)

(5) 特色ある新規事業、増額した継続事業

(事業費、事業内容についてはP13～P21)

3. 歳入予算の特徴

(1) 市税

市税については、評価替に伴う固定資産税の減などにより、総額で15億9,641万5千円、対前年度比5,045万4千円、3.1%の減となっています。

(2) 地方交付税

地方交付税については、国の地方財政計画においては16兆7,548億円、対前年度比1,307億円、0.8%減となっていますが、市においては過去の交付実績を参考に普通交付税については前年度に比べて1億円の減、特別交付税については、1億円の増としています。

その結果、地方交付税は50億円、前年度と同額となっています。

(3) 市債

市債について、建設事業や災害復旧事業などに対しては、単独事業費の増額により17億3,560万円、対前年度比6,270万円、3.7%の増となっております。

地方交付税と同様に一般財源として取り扱われる臨時財政対策債については、3億円、対前年度比7,000万円、18.9%の減となり、市債総額では、20億3,560万円、対前年度比730万円、0.4%の減となっています。

市債の内容は、合併特例債2億470万円、過疎債14億8,020万円、その他3億5,070万円となっています。

この結果、平成27年度末の市債残高見込額は149億3,558万1千円となっています。なお、合併特例債などは元利償還の際に交付税措置がされることから、実質的市債残高は約37億円となっております。

(4) 財政調整基金繰入金

財政調整基金から5億5,034万6千円を財源不足解消のため繰り入れします。

この結果、平成27年度末財政調整基金の残高見込額は24億3,388万4千円となっています。なお、地域振興基金、減債基金などを加えた基金総額では46億7,694万5千円となっています。

地方創生関連事業一覧表(平成26年度3月補正予算)

単位:千円

事業名	概算事業費	事業内容
1 都市部地域に対する誘客PR事業	15,660	都市部地域に対して積極的に誘客PRを行い、市内での経済効果・活性化を生み出します。
2 移住対策就業促進事業	250	定住人口の増加を図るため、熊野市への移住を検討する人に対して、熊野市内にある事業所での就業体験を実施します。
3 若者移住のための地元PR事業	240	パドルアップサーフィンを趣味に持つ人に対する移住PRを行い、趣味を満喫できるという視点での移住を推進します。
4 移住促進空き家活用事業	334	空き家の活用を通じて移住を進めるため、改修費用等の一部を補助します。
5 健康づくり景観整備推進事業	1,963	健康づくりと市街地の活性化を柱とするスマートウェルネスシティ構想を推進するため、歩きたくなるまちの創出を目的に景観整備を行います。
6 お試し居住整備事業	712	熊野市で住宅や仕事を探すことを目的としたお試し居住施設を整備し、移住希望者が短・中期間滞在できる環境を整備することで円滑な移住を図ります。
7 地方創生推進委員会(仮称)運営事業	74	地方版総合戦略に外部有識者の意見を取り入れることで幅広い関係者の意見を吸い上げます。
8 熊野材を活用した誕生祝記念品事業	243	熊野材を活用した「木製フォトフレーム」を誕生祝いの記念品として新たに加えます。
9 婚活支援・少子化対策事業	1,663	婚活支援のための様々なサポートを行います。結婚を望む独身者を応援するお世話焼きさんを「婚活サポーター」として登録し、婚活のお手伝いを行います。また、釣り、料理、バスツアー等のサークル活動を通じて出会いの場を提供します。
10 移住交流・都市農村交流促進貸出農園事業	5,833	遊休農地となりそうな農地や耕作放棄地を利用し、市民農園として貸し出しを行い、交流人口の増加を図ります。都市部を中心とした方の滞在時間、来市回数を増加させ、移住促進を目指します。
11 都市部営業拠点販売推進事業	7,343	当地域の柑橘を中心とした都市部でニーズの高い農産物を選抜し、軽トラックで直接持ち込み販売を行います。熊野産農産物への認知度向上によるブランド化を確立し、地域の活性化につなげます。
12 ミニマルシェ(地域産品販売促進)事業	983	高速道路開通に伴い県内外から入込客数が増加しているため、たかな等の特産品をはじめとする多くの優良野菜を観光客が立ち寄る施設で販売することにより、地域活性化につなげます。
13 農産物ブランド化緊急対策事業	4,304	熊野の気候に適した農産物及び販売需要の高い農産物のブランド化を進めるため、作付面積を増やす取組を行います。
14 熊野地鶏販売拡大事業	728	都市部の展示会への参加により、競争力を高めて熊野地鶏の需要を押し上げます。
15 都市農村交流促進事業	597	都市住民を丸山千枚田のグリーンツーリズムを中心として受け入れ、集落の活性化につながるよう交流活動を促進します。

事業名	概算事業費	事業内容
16 坑道きのこ産地化推進事業	3,511	紀和町にある旧紀州鉾山の坑道を利用したシイタケの本格的な量産化に向けて基盤整備を行い、新たな特産品として商品化を行います。
17 熊野材を活用した特産品づくり検討事業	1,533	熊野材をつかった新たな特産品を開発するため、都市部の大学デザイン学科と協力して学生の意見やアイデアを活かした商品を作成します。
18 水産物加工品等開発事業	350	漁業関係者等とで構成する産地協議会において、熊野産の水産物を使った加工品等の開発を行い、漁業者の所得向上、熊野産水産物の消費拡大を図ります。
19 水産物消費拡大促進事業	2,193	水産物消費拡大につなげるため、漁協の移動販売に対する支援を行うとともに熊野の美味しい魚を取り扱う魚屋・魚料理屋マップとHPを作成し、料理教室を開催します。
20 商店街チャレンジショップ支援事業	1,270	記念通り商店街での空き店舗をチャレンジショップとして活用して商店街での起業を促し、商店街の活性化を図ります。
21 産業競争力強化推進事業	1,251	中小企業の経営支援のため必要な専門家を派遣し、既存事業者の経営拡大や市内での企業を促進することで地域経済の活性化を図ります。
22 熊野市プレミアム付き地域商品券発行事業	45,200	プレミアム付き地域商品券や、いこらい市限定の買物券を販売し、地域消費の拡大を図るとともに地域経済を活性化します。
23 シネアド広告展開事業	3,188	都市部の映画館で熊野市のPRを行い、高速道路開通で近くなった熊野市への誘客・PRを行います。
24 外国人誘客促進対策事業	800	市内の観光施設等における無料Wi-Fi設置費用の一部に対して補助を行い、観光客の受け入れ態勢の向上につなげます。
25 都市との交流・新たな魅力再発見事業	1,408	熊野市の知られざる珍景・絶景をPRすることにより、宿泊込の観光集客を図ります。
総計 25事業	101,631	

特色ある新規事業

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
集客・交流		
1 観光用ライブカメラ設置事業	646	紀和町の赤木城跡にライブカメラを設置し、情報発信を行い集客を図ります。
2 インバウンド環境整備事業	310	外国人観光客の受け入れ整備を図るため、観光資源や施設の案内シールを作成します。
3 車両ステッカー観光PR事業	432	熊野市をPRする大型の車両用ステッカーを作成し、地元運送会社などの市外へ向かうトラックに貼ってもらい、市外へのPRを図ります。
4 JRタイアップ広告宣伝展開事業	1,668	JR東海と協同・連携し、駅構内で熊野市が作成したポスターを掲示し、情報発信します。
5 くまのりものPR事業	84	市街地周遊バス、レンタサイクル、観光タクシー、路線バス、熊野古道無料バスなどを利用した周遊モデルプランを載せたガイドマップを作成し、観光客の市内滞在期間を増やすことを目指します。
6 鬼ヶ城センター複合施設バス乗務員用休憩所設置事業	1,960	鬼ヶ城センター駐車場内に観光バス乗務員用休憩所を設置し、観光バスの更なる誘致を図ります。
7 観光地保存事業費補助事業	586	清掃活動等のため新鹿海岸で使用しているクローラーの更新費用の一部を補助し、観光地としての景観を維持します。
8 観光ガイド養成事業	242	熊野市内の観光資源を幅広くガイドできる人材を養成し、熊野の魅力を十分に伝えることにより、観光客の満足度を上げることを図ります。
9 観光客実態調査事業	253	鬼ヶ城、花の窟、熊野古道、千枚田などの主要な観光地において、アンケート調査により観光客の実態を把握して、今後の観光戦略につなげます。
農業		
10 優良野菜産地化実証事業	23,619	地域おこし協力隊を活用して、これまで実施してきた「すきま野菜栽培実証事業」で事業者から引き合いの強かった農産物を栽培し、さらに規模拡大することにより耕作放棄地の解消を図ります。
11 柑橘統一選果場整備事業	9,210	JA三重南紀が柑橘統一選果場再整備を行う経費の一部を負担し、柑橘の更なる品質向上を目指します。
12 農地利用状況調査事業	1,033	遊休農地所有者に対して農地の利用意向調査を行い、農地中間管理機構への貸し出しや農地銀行の利用を推進します。
林業・豊かな森づくり		
13 暮らしを守る危険木伐採事業	5,750	台風など災害時の倒木などで集落が孤立する恐れがあるため、集落間を結ぶ林道における危険木及び枝を伐採します。
水産業		
14 遊木漁港改良事業	11,001	遊木漁港内の市場前の岸壁に小型船の突入防止柵を設置し、小型船が市場に陸揚げする際の安全を図ります。
商工業		
15 インターネット販売強化推進事業	30	市の特産品の販売のため、ネット販売に関する勉強会を開催します。

事業名	事業費	事業内容
16 松原商店街街路灯整備事業	1,528	松原商店街の活性化と地域の防犯目的のために設置されている街路灯をLED化する経費の一部を補助します。
小計 16事業	58,352	
2 保健・医療・福祉の充実		
高齢者福祉		
1 くまの魅力再発見！男性シニア健康ハイキング事業	54	男性高齢者を対象としたハイキングを開催することで、外出する楽しみを提供し、健康意識を高めてもらいます。
2 認知症カフェ事業	300	認知症の人と家族、支援者とボランティアなどの地域住民が交流し、さまざまな活動を通してリフレッシュすることができる場所を展開します。
3 認知症啓発推進事業	199	認知症についての専門医等による講演や映画鑑賞会を行い、認知症予防への関心を高めるとともに、認知症の人や家族に対する支援者を増やし、認知症になっても住みやすい環境の整備につなげます。
4 徘徊SOSネットワーク事業	123	徘徊のおそれのある認知症高齢者等の支援を行うため、関係機関による緊急連絡体制及び支援体制を構築します。
5 在宅医療・介護連携推進事業	1,662	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、この地域の在宅医療・介護に携わる様々な職種(医師、看護師、歯科医師、薬剤師、介護職等)の連携ネットワークを構築するとともに、地域の特性に配慮した患者情報管理の検討や人材育成を行っていきます。
健康づくり		
6 健康増進ポイント事業	1,531	健診や健康づくりに関する事業への参加に応じて健康ポイントを集め、集めたポイントに応じて商品等と交換できるようにします。また、ウォーキングの習慣化をめざし、毎週水曜日はウォーキングデーと意識してウォーキングを心掛けることをPRします。
7 男性のための肉体改造教室事業	224	男性にターゲットを絞った運動教室を開催し、生活習慣病予防の啓発と実践を行い、健康づくりへの意識を高めます。
8 ノルディックウォーク教室事業	115	様々な年代の人に効果があるノルディックウォークの教室を開催し、運動習慣の啓発と普及を図ります。
9 まちなかウォーキングコース事業	274	市街地においてウォーキングする方が多い通りに歩行距離等の目安となる目印を設置し、健康づくりを図ります。
10 五郷診療所、荒坂診療所医療機器整備事業	11,230	五郷診療所にレントゲン装置、心電計、荒坂診療所に薬の分包機を整備し、医療体制を充実します。
11 救急事業地域メディカルコントロール体制構築事業	200	救急救命士が救急のためにできる行為の範囲が拡大されるため、専門的な検証医師を確保して事後検証を行い、救急医療体制を充実します。
12 AED更新事業	1,167	社会福祉協議会3施設(ふれあいセンター、高齢者福祉センター、飛鳥五郷デイサービスセンター)のAEDを更新し、救急体制を充実します。
少子化・子育て対策		
13 産後ケア事業	54	育児不安が強く、きめ細かなサポートが必要な人に対し、心身のケアや育児サポート等の支援を行います。
14 井戸保育園耐震補強事業	23,130	社会福祉法人ひまわり会が運営する「井戸保育園」の耐震補強工事を行います。
生活支援		

事業名	事業費	事業内容
15 生活困窮者自立支援事業	3,929	将来的に生活困窮におちいると見込まれる人に対して、各関係機関が包括的な支援を実施し、生活困窮問題の解決を目指します。
小計 15事業	44,192	
3 教育・文化の振興		
学校教育		
1 グローバル体験事業	100	夏休みや冬休みにALTによる英会話教室や英語イベントなどを行い、英語の世界を楽しく体験させることにより、グローバル社会に対応できる児童生徒の育成を目指します。
2 社会科副読本改訂事業	1,231	市内各小学校で使用している「わたしたちの熊野市」の改訂を行い、各資料のデータを新しいものにするにより、学習効果・学力の向上を図ります。
3 学校における囲碁教室事業	174	市内の小学校において、児童生徒が囲碁に親しむ教室を開催し、集中力や忍耐力、相手を思いやる気持ちなどの豊かな心や生きる力を育みます。
学校環境の整備		
4 中学校給食実施事業	133,666	山間部中学校(飛鳥中学校、五郷中学校)に学校給食を実施します。また、木本中学校、有馬中学校の給食を実施するため、木本中学校の教室を改修し、調理場とするための設計・改修工事を行います。
5 小学校校舎等改修事業	11,860	新鹿小中学校のプール塗装、木本小学校のトイレ洋式化、有馬小学校の受電設備改修を行い、安全安心に学校生活を送れるようにします。
6 中学校校舎等改修事業	11,660	木本中学校体育館の床を改修し、安全安心に学校生活を送れるようにします。
文化芸術		
7 市民会館電気室改修事業	9,800	市民会館地下電気室内の受変電設備を更新し、安心して施設を利用できるようにします
8 市民会館舞台機構改修事業	7,300	市民会館舞台の吊物装置の改修及び取替えを行い、安心して施設を利用できるようにします
9 鉾山資料館電気室改修事業	700	鉾山資料館の電気設備を改修し、安心して施設を利用できるようにします
小計 9事業	176,491	
4 生活環境の整備		
市街地の整備		
1 スマートウェルネスシティ検討事業	158	健康づくりと中心市街地の活性化に関して、積極的かつ先進的に取り組んでいる自治体との情報交換を行います。
防災		
2 防災意識啓発事業(講演会)	59	東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県多賀城市の職員を招いて震災の経験や教訓について聞き、市民の防災意識の向上を図ります。
3 防災意識啓発事業(漫才)	284	環境省推薦の漫才師、林家ライス・カレー子さんと呼び、防災漫才を実施します。笑いを交えた防災の話を聞き、市民の防災意識の向上を図ります。
4 地域ぐるみの災害時要援護者支援事業	194	地域ぐるみの災害時要援護者対策の講演を行うとともに、避難行動要援護者名簿を基に、地域内の避難場所となりうる家屋などの支援対策を検討します。

事業名	事業費	事業内容
5 円滑な避難場所開設事業	92	風水害時の避難場所は110か所ありますが、鍵はそれぞれの地域の責任者が管理しています。そこで、合鍵を作製し、防災対策推進課でも保管し、迅速に避難場所の開設ができるようにします。
6 宿泊施設用津波ハザードマップ・避難場所作成事業	10	津波浸水区域の宿泊施設と相談の上、避難場所を定めた津波ハザードマップを作成し、配布します。
7 福祉避難所資機材整備事業	850	福祉避難所については、たちばな園、むつみ苑、ケアホーム熊南の3施設で避難所生活に適応できない高齢者や要援護者の受入れを行うこととなっていますが、福祉避難所に避難した住民が安心して避難所生活を送ることができるように資機材を整備します。
8 福祉避難所運営検討事業	-	災害時に福祉避難所が有効に機能するために、運営マニュアルを作成します。
9 風水害対策気象情報収集整備試行事業	1,296	気象情報を(株)ウェザーニュースの気象予報士と直接電話で確認できるようにして、より詳細な気象情報を得られるようにし、情報周知や初動体制の迅速化、地域の特性を考慮した避難勧告等の判断を実現できるようにします。
10 災害対策本部再生可能エネルギー等導入事業	28,853	市役所本庁舎に太陽光発電装置と蓄電池装置を設置し、災害による電力喪失時に災害対策本部としての機能維持のための電力を確保します。
11 木本中学校再生可能エネルギー等導入事業	32,141	木本中学校に太陽光発電装置と蓄電池装置を設置し、災害による電力喪失時に避難所としての機能維持のための電力を確保します。
消防		
12 高規格救急車更新事業	36,685	本署に配備している高規格救急車を更新並びに、高度救命処置用資機材等を更新し、消防力の充実強化につなげます。
13 分団車庫改築・改修事業	21,080	老朽化した飛鳥分団小阪車庫を浸水のリスクの低い場所に改築するほか、木本分団車庫の外壁改修を行い、消防力の充実強化につなげます。
14 小型動力ポンプ付積載車更新事業	9,508	老朽化した神川分団神上の小型動力ポンプ付積載車を更新し、消防力の充実強化につなげます。
15 小型動力ポンプ更新事業	810	老朽化した小森分団に配備している小型動力ポンプを更新し、消防力の充実強化につなげます。
16 消防分団員被服整備事業	3,109	消防分団員の雨合羽、Tシャツ、ヘルメット、ヘッドライトを購入し、活動力強化につなげます。
住宅・住環境		
17 空き家活用促進事業	5,932	UIJターン者の受入れを促進するため、市内の空き家調査を実施します。
道路		
18 側溝・舗装修繕事業	234,608	生活に密着した道路の側溝や舗装修繕を実施し、安全で安心な生活環境を構築します。
19 橋梁定期点検事業	10,000	適切な道路管理を行うため、市道の橋梁の定期点検を実施し、異常または損傷を早期に発見し、対策の可否を判定します。
廃棄物処理		
20 ごみ減量化市民行動計画事業	7,065	ごみの減量化、リサイクルの推進並びにごみ処理経費の削減に結びつく事業を実施します。
小計 20事業	392,734	
5 まちづくりの進め方		

事業名	事業費	事業内容
1 市制10周年記念事業	1,644	旧熊野市と紀和町が合併して10周年を迎えるため、記念式典を開催します。
2 五郷地域づくり補助事業	3,868	紀伊半島大水害により被害を受けた五郷ふれあい公園内施設の復旧を支援し、地域コミュニティの育成強化を図ります。
3 新鹿公民館修繕事業	1,142	新鹿公民館の窓、床等の修繕を行います。
4 久生屋公民館塗装事業	4,919	久生屋公民館の外壁塗装を行います。
5 滑地集会所修繕事業	316	飛鳥町滑地自治会が所有する集会所の屋根修繕費用の一部を補助します。
6 議員調査活動能力向上事業	1,680	市議会議員の調査活動能力向上のため、研修や視察時の旅費と負担金等を支給します。
小計 7事業	13,569	
総計 67事業	685,338	

平成27年度一般会計当初予算の主な内容

事業費の()は平成26年度当初予算額

①産業の振興

「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

1 集客交流の推進

(1)観光業

(ア)多様な情報発信の展開

(新規) 観光用ライブカメラ設置事業【観光スポーツ交流課】 64万6千円

紀和町の赤木城跡にライブカメラを設置し、情報発信を行い集客を図ります。

(新規) インバウンド環境整備事業【観光スポーツ交流課】 31万円

外国人観光客の受け入れ整備を図るため、観光資源や施設の案内シールを作成します。

(新規) 車両ステッカー観光PR事業【観光スポーツ交流課】 43万2千円

熊野市をPRする大型の車両用ステッカーを作成し、地元運送会社などの市外へ向かうトラックに貼ってもらい、市外へのPRを図ります。

(新規) JRタイアップ広告宣伝展開事業【観光スポーツ交流課】 166万8千円

JR東海と協同・連携し、駅構内で熊野市が作成したポスターを掲示し、情報発信します。

(新規) くまのりものPR事業【観光スポーツ交流課】 8万4千円

市街地周遊バス、レンタサイクル、観光タクシー、路線バス、熊野古道無料バスなどを利用した周遊モデルプランを載せたガイドマップを作成し、観光客の市内滞在期間を増やすことを目指します。

(継続) 観光アンバサダー推進事業【市長公室】 86万1千円

外国人及び留学生を活用して市の観光資源の情報発信を行います。

(イ)受入態勢の向上

(新規) 鬼ヶ城センター複合施設バス乗務員用休憩所設置事業【観光スポーツ交流課】

196万円

鬼ヶ城センター駐車場内に観光バス乗務員用休憩所を設置し、観光バスの更なる誘致を図ります。

(新規) 観光地保存事業費補助事業【観光スポーツ交流課】 58万6千円

清掃活動等のため新鹿海岸で使用しているクローラーの更新費用の一部を補助し、観光地としての景観を維持します。

(増額) ホテル瀨流荘大規模改修整備事業【地域振興課】

1億2,924万5千円(3,031万1千円)

奥瀨道路の完成や国道311号の改良を見越し、熊野市の西の玄関口としての役割を充実させるため、建設から24年が経過して老朽化が進んでいるホテル瀨流荘の大規模改修及び増築を行います。平成27、28年度で大規模改修工事及び増築工事を行います。

(増額) 湯ノ口温泉施設周辺整備事業【地域振興課】 1億4,931万2千円(371万2千円)

老朽化が進んでいた湯ノ口温泉の本館の建て替えは26年度に完成しますが、27年度はバンガローの改築、駐車場の整備、既設設備の撤去等を行います。

(継続) 熊野市集客倍増・おもてなしアップ推進事業【観光スポーツ交流課】 19万6千円

市内の観光施設運営者、宿泊業者、運輸業者、旅行業者等の参画による熊野市集客倍増・おもてなしアップ推進会議を設置し、観光客の集客向上に向けた取組みを行います。

(ウ)観光地としての魅力創造

(新規) 観光ガイド養成事業【観光スポーツ交流課】 24万2千円

熊野市内の観光資源を幅広くガイドできる人材を養成し、熊野の魅力を十分に伝えることにより、観光客の満足度を上げることを図ります。

(新規) 観光客実態調査事業【観光スポーツ交流課】 25万3千円

鬼ヶ城、花の窟、熊野古道、千枚田などの主要な観光地において、アンケート調査により観光客の実態を把握して、今後の観光戦略につなげます。

(継続) 観光大使事業【観光スポーツ交流課】 43万6千円

熊野市にゆかりがあつて、観光業などに精通した方々に観光大使になっていただき、熊野市の魅力、良さを国内外にPRしてもらいます。また、観光大使のアドバイスを今後の観光施策に反映します。

(継続) 観光案内スマホ活用事業【観光スポーツ交流課】 6万5千円

携帯アプリ「かざすCITY」を利用した観光名所等の情報を提供し、観光客の誘客と観光振興を図ります。

(継続) 観光タクシー事業【観光スポーツ交流課】 14万4千円

研修を受けた乗務員が観光名所の案内を行うことにより、誘客を行います。

(継続) 食のキャンペーン事業【観光スポーツ交流課】 69万6千円

熊野を訪れた観光客のおもてなしアップのため、井のキャンペーンを引き続き行います。

(継続) 徐福の里魅力向上事業【観光スポーツ交流課】 48万2千円

徐福伝説を活用し、波田須周辺の地域資源の魅力を高め「徐福の里」波田須を国内外に発信します。

(継続) 熊遊戦隊イコライジャーステージ事業【地域振興課】 23万6千円

市内、市外のイベントで熊野市が誇る数々の観光名所や特産品をテーマとしたステージを行い、集客の増大を図ります。

(エ)体験型観光の促進

(増額) 地域おこし協力隊等観光振興事業【観光スポーツ交流課】

1,073万6千円(740万5千円)

外部からの新しい視点で市内の観光資源を活用した地域や集落の活性化を図ります。民泊の整備推進、体験ツアーの企画・立案、みやげもの開発等を行います。

(増額) 丸山千枚田虫おくり支援事業【地域振興課】 57万円(27万円)

丸山千枚田の虫おくり実行委員会が主催する「丸山千枚田の虫おくり」に対し支援を行います。

(継続) 観光公社事業【観光スポーツ交流課】 1,529万5千円

熊野古道をはじめとする市内の豊富な観光資源を活用し、着地型旅行商品や体験プログラムの企画や販売を行い滞在型観光の推進を図るとともに、旅行代理店への宣伝、宿泊施設の紹介などを行い、観光の振興と観光関連産業及び地域経済の活性化を図ります。

(オ)集客交流の促進

(継続) 都市農村交流推進事業【農業振興課】 16万8千円

都市住民と集落の都市農村交流を促進させ活性化につなげます。また、百貨店での地域物産展への出展や相模女子大学の大学祭への参加を行い、当市の特産品を販売します。

(継続) 熊野古道積極活用推進事業【観光スポーツ交流課】 60万円

熊野市の観光をPRするため、おもてなし事業、メディア交流会への参加等を行います。

(継続) 紀南中核的交流施設整備事業【市長公室】 2,535万5千円

滞在型の集客交流施設の整備を行う(株)エムアンドエムサービスに対し支援を行います。

(継続) 小船梅まつり・小森桜まつり・火祭り・ふるさとまつり開催事業

【地域振興課】 420万円

地域の活性化と地域振興のため、伝統あるまつりを継続して実施します。

(継続) 観光イベント開催事業 【観光スポーツ交流課】 295万円

各種観光イベント事業に対し、事業費の一部を支援することによってイベントの充実を図り、観光地としての宣伝活動及び観光客の誘致を行います。

(カ)観光客の利便性向上

(継続) 熊野古道客に対する2次交通確保対策事業 【市長公室】 219万3千円

熊野古道客に対する2次交通の確保を図るため、松本峠、大吹峠、通り峠・丸山千枚田へ無料シャトルバスを運行します。

(継続) 熊野古道シャトルバス運行事業 【観光スポーツ交流課】 165万4千円

中京圏から熊野古道伊勢路への古道客誘致のために運行されている「熊野古道シャトルバス」への運営費の一部を負担します。

(2) スポーツによる集客交流

(ア) 大会・合宿の誘致

(増額) 海水浴場魅力向上事業 【観光スポーツ交流課】 259万8千円(135万円)

新鹿海岸でビーチ・マリンスポーツフェスティバルIN新鹿(シーカヤック、スタンドアップパドルサーフィン、ビーチサッカーなどの大会)やビーチバレーボールフェスタを開催し、熊野の雄大な自然、地形を利用したマリンスポーツを振興し、一年を通じた集客を創出します。

(増額) 還暦野球熊野大会開催事業 【観光スポーツ交流課】 70万円(60万円)

山崎運動公園くまのスタジアム等で、還暦の部16チーム、古希の部4チームによる「還暦野球熊野大会」を開催し、市の情報発信、集客効果の増大を図ります。

(継続) トレイルランニングレース開催事業 【地域振興課】 80万円

ランニングブームのなか、山道などを走るトレイルランニングが関東地方を中心に爆発的に人口を増やしているため、30キロコース、50キロコースなどのトレイルランニング大会を開催し、全国からの集客を図ります。

(継続) ロングトレイル整備事業 【地域振興課】 84万3千円

トレイルランニングレースを開催するため、紀和地域の絶景ポイントを取り入れたトレッキングコースを新たに整備します。

(継続) サイクルデイ in 熊野開催事業【観光スポーツ交流課】 70万円

一流選手等を講師に迎え、講習会やサイクルイベントを実施し、新たな種目のスポーツ集客の拡大を図ります。

(継続) スポーツフェスティバル開催事業【観光スポーツ交流課】 1,184万3千円

ソフトボール、ベースボール、ラグビー、柔道、ソフトテニスのフェスティバルを開催し、スポーツを通じた集客・交流を促進します。

(継続) 紀伊半島グラウンドゴルフ大会開催事業【観光スポーツ交流課】 5万円

平成27年11月に紀伊半島グラウンドゴルフ大会を開催し、地域の活性化、観光客誘致による集客の拡大を進めます。

(継続) 紀伊半島寿野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】 100万円

三重・和歌山・奈良3県等からの参加チームにより寿野球大会を開催し、都市間の交流を行うことにより、地域振興を図ります。

(継続) 熊野学童軟式野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】 50万円

学童軟式野球大会を開催し、他地域からの集客を行うことにより、地域振興を図ります。

2 商工(鉱)業の振興

(1) 商業

(ア) 販売・輸出の強化

(新規) インターネット販売強化推進事業【水産・商工振興課】 3万円

市の特産品の販売のため、ネット販売に関する勉強会を開催します。

(増額) 那智黒石振興事業【水産・商工振興課】 266万6千円(173万円)

宮崎県日向市の蛤碁石と熊野市の那智黒石のPRを、東京にある三重県アンテナショップ「三重テラス」にて合同開催することで、両市の特産品の知名度の向上を図ります。また、「熊野那智黒碁石まつり」を熊野で開催し、那智黒石の郷、熊野市をPRします。

(継続) 物産展開催事業【水産・商工振興課】 82万6千円

市外への輸出を促進するため、商談会等へ参加し、バイヤーとの連携強化を行います。また、関西圏や中部圏において市特産品のPRを実施します。

(イ) 中小小売業の活性化

(新規) 松原商店街街路灯整備事業【水産・商工振興課】 152万8千円

松原商店街の活性化と地域の防犯目的のために設置されている街路灯をLED化する経費の一部を補助します。

(増額) 若者起業支援・融資助成事業【水産・商工振興課】 100万円(75万円)

若者が市内で起業する際、金融機関から起業のために融資を受ける場合において、利子の一部(融資金額の4%(現行3%)・補助対象融資限度額500万円、補助上限20万円(現行15万円))に対して補助を行います。

(継続) 若者起業支援・チャレンジショップ支援事業【水産・商工振興課】 134万4千円

市内の商店街等における空き店舗を活用した若者の起業に対し、家賃の2分の1以内(月額上限3万円)で最高2年間補助します。

(継続) 歩き楽しむ記念通り商店街実現支援事業【水産・商工振興課】 138万1千円

平成23年度から実施している記念通り商店街での歩行者天国事業を継続実施します。中心市街地の賑わいを創出し、商店街の経済効果を高めます。

(継続) 小規模事業者振興資金利子補給事業【水産・商工振興課】 518万円

高速道路開通により、もてなしアップの改善やこの機会に事業規模の拡大や新規の創業を考えている市内事業者に対して、そのリスクを軽減するため、事業者が日本政策金融公庫の経営改善貸付制度及び三重県小規模事業者資金制度等を活用して融資を受けた場合に、その利息の一部を補助します。

(継続) きのもと商いPR支援事業【水産・商工振興課】 62万8千円

熊野市商店連合会が本町通、記念通り商店街などに呼びかけて実施する百円市や一店逸品活動などのPR費用を支援し、個々の商店主が独自の発想で自己商品の販売戦略を考え魅力ある店作りに努めることを支援します。

(継続) 記念通り商店街活性化事業【水産・商工振興課】 210万8千円

住民の憩いの場として利用されている「いこらい広場」を様々な人が利用できるスペースとして活用します。また、毎月「いこらい市」を開催します。

3 農林水産業の振興

(1) 農業

(ア) 農業者の確保・育成対策

(継続) 地域おこし協力隊農業支援事業【農業振興課】 784万円

農業従事者の高齢化や担い手不足により、たかな等の特産品についても生産量が減少傾向にあるため、新たな担い手を確保して、耕作放棄地の解消、特産品の安定生産につなげます。

(継続) 新規就農者確保事業【農業振興課】 214万1千円

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の所得を確保するため補助金を交付します。

(継続) 農業公社事業【農業振興課】 1,034万2千円

農業の担い手や新規就農者育成を図る研修事業や遊休農地の再生利用、すきま野菜等の栽培促進、都市と農村の交流を推進することにより、農産物の生産量増大、農村環境の保全を図ります。

(継続) 経営所得安定対策推進事業【農業振興課】 200万円

農業者の「経営所得安定対策」を適正かつ円滑に実施するため、各種事務及び必要な取組を実施します。

(継続) 新規就農者等施設園芸補助事業【農業振興課】 300万円

UIターン新規就農者に対し、施設園芸用設備の整備を行う場合、費用の一部を補助します。

(継続) 農業担い手対策補助事業【農業振興課】 96万円

新たに転入して農業に従事するIターン農業担い手に対し、家賃の一部を補助します。

(イ)組織的農業への支援

(増額) 多面的機能支払事業【農業振興課】 228万9千円(33万9千円)

地域住民主体での農地・農業用水などの資源の保全管理、環境の保全、水路・農道などの施設の長寿命化を図る活動に対し、その経費を補助します。

(継続) 集落営農推進事業【農業振興課】 19万7千円

農業者の高齢化や担い手不足に対応するため、集落営農組織の設立を図り、将来に向けて持続性のある経営体を育成します。

(ウ)市場競争力のある農産物・加工品による輸出力強化

(新規) 優良野菜産地化実証事業【農業振興課】 2,361万9千円

地域おこし協力隊を活用して、これまで実施してきた「すきま野菜栽培実証事業」で事業者から引き合いの強かった農産物を栽培し、さらに規模拡大することにより耕作放棄地の解消を図ります。

(新規) 柑橘統一選果場整備事業【農業振興課】 921万円

JA三重南紀が柑橘統一選果場再整備を行う経費の一部を負担し、柑橘の更なる品質向上を目指します。

(増額) 農地集積協力金事業【農業振興課】 250万(150万5千円)

農業者の高齢化により遊休農地・耕作放棄地が増加しているため、農地集積交付金を交付することにより、農地集積を図り、農業振興地域の再生を促進します。

(継続) 柑橘高品質化推進事業【農業振興課】 306万円

柑橘の高品質化を図り、他産地との差別化を図るため、栽培資材(マルチ材)を新規に購入する場合、費用の一部を補助します。

(継続) 熊野地鶏振興事業【地域振興課】 17万5千円

「熊野地鶏」の販売を促進するため、熊野地鶏フェアを開催し、市内外でのPRに力を入れます。

(継続) 人・農地問題解決加速化支援事業【農業振興課】 34万4千円

地域の営農継続、耕作放棄地の減少などを図るため、中心となる経営体への農地の集積やその他の農業者を含めた地域農業のあり方を定めたマスタープランの作成及び見直しを行います。

(継続) 「新姫」特産品化推進事業【農業振興課】 361万円

「新姫」を特産品として振興していく上で、既に商品化しているぽん酢、ドリンク、果汁、アイスクリーム等の販売強化に努め、売り上げ増を図っていきます。

(継続) 特産品等開発事業(一地域一品運動)【農業振興課】 100万円

地域の人材や資源を活用した特産品の開発に係る取り組みに対し、経費の一部を支援し、地域の活性化と雇用の創出を図ります。

(エ)農村環境の整備と農地の適正な管理

(新規) 農地利用状況調査事業【農業委員会】 103万3千円

遊休農地所有者に対して農地の利用意向調査を行い、農地中間管理機構への貸し出しや農地銀行の利用を推進します。

(増額) 県営畑地帯総合整備事業【農業振興課】 4,050万円(3,375万円)

高品質柑橘の生産を可能とする用水及び排水路の改良、道路整備を基本とした生産基盤整備を行います。

(継続) 県営中山間地域総合整備事業【農業振興課】 3,450万円

中山間農村地域の活性化と集客交流の場の提供並びに農業生産力の向上と労働力の軽減、農村生活環境の改善を図ります。

(オ) 獣害対策

(増額) 有害鳥獣駆除事業【林業振興課】 1,878万5千円(1,093万5千円)

鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を行います。

(継続) 有害鳥獣捕獲実施隊事業【農業振興課】 692万7千円

鳥獣による農作物への被害が市内全域で深刻化しているため、有害鳥獣捕獲実施隊を組織して、獣害対策に関するきめ細やかな地域指導を行います。

(継続) 農産物獣害対策事業【農業振興課】 310万5千円

農産物への被害を防止するために設置する電気柵等の資材を支援し、農産物の安定生産を図ります。

(カ)(一財)熊野市ふるさと振興公社の役割

(増額) 丸山千枚田保全事業【地域振興課】 2,264万5千円(1,944万2千円)

丸山千枚田の稲作・草刈作業及び水口・畦畔・石垣等の補修作業を保存会の協力を得て行い、文化資源としての活用を図り、農耕文化の継承に努めます。また、都市住民との交流を推進し、観光資源としての活用にも努めます。

(継続) 熊野市ふるさと振興公社事業【地域振興課】 4,612万4千円

熊野地鶏や新姫、味噌などの特産物の生産・加工・販売や瀬流荘、湯ノ口温泉、鬼ヶ城センターなど観光サービス事業などを行います。各部が連携して販売額のアップを図るとともに効率化と生産性向上に努めるなどコスト改革に取り組み、健全な経営に努めます。そして、市と公社が連携を取りながら「輸出力」の増大を図り、市の地域振興、雇用拡大に貢献していきます。

(2) 林業

(ア) 市民と共存する豊かな森づくり

(新規) 暮らしを守る危険木伐採事業【林業振興課】 575万円

台風など災害時の倒木などで集落が孤立する恐れがあるため、集落間を結ぶ林道における危険木及び枝を伐採します。

(継続) 木造住宅建設促進対策事業【林業振興課】 1,736万円

地元産材の活用を通して建築関連産業の活性化を図るため、熊野材を使用した住宅建築

者にレインボー商品券の購入を助成します。また、内装材に基準以上の熊野材を使った家については、レインボー商品券を増額します。

(継続) 身近なみどり整備推進事業【林業振興課】120万9千円

倒木の恐れがある樹木から市民の生命や財産を守るため、危険木の伐採に対する支援を行います。

(継続) 森林環境創造事業【林業振興課】3,000万円

環境林の間伐、植栽、下刈、歩道整備、現地調査を実施することで山林の持続的な管理を行い、山林の活性化を図ります。

(継続) 森林病虫害防除事業【林業振興課】5万8千円

花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。

(継続) 甲虫類飼育生産事業【林業振興課】14万5千円

紀和町のクヌギ山を利用し、甲虫類の産卵場所を人工的につくり増殖させることで、自然豊かな森づくりとともに、観光客に昆虫採取の体験メニューを提供したり、甲虫の販売を行います。

(継続) 林内作業道開設事業【林業振興課】150万円

森林組合が開設する作業道について、支援を行います。

(継続) 林道開設事業【林業振興課】7,336万7千円

林道高代山・大井川線開設事業、他1路線の開設・改良事業を実施します。

(継続) 森林再生による野生鳥獣の生息環境創出事業【林業振興課】9万円

かつて野生鳥獣の生息地となっていた森林を再生することにより、集落周辺への野生鳥獣の出現の減少を図ります。

(継続) 民有林境界測量促進事業【林業振興課】60万5千円

民有林の位置、境界をGPS等を使用しながら測量・調査する費用の一部を補助します。

(イ)林産物の需要拡大と安定供給体制づくり

(継続) 熊野材輸出促進事業【林業振興課】159万円

市と熊野木材協同組合が一体となって熊野材輸出促進のための協議会を設置し、熊野材の産地化を進めることによって消費者の認知度を深め、工務店などに営業活動を行うことにより、都市部での需要拡大を図ります。

(ウ)森を支える人と組織体制づくり

(継続) 林業担い手対策事業【林業振興課】 24万円

新たに転入して林業に従事するI・Jターン林業担い手の家賃を2年間助成します。

(継続) 森林経営計画作成推進事業【林業振興課】 114万円

一体的に施業などを行う集約化を推進するため、小規模森林所有者を取りまとめ合意形成を図ります。合意形成への取組に必要な森林情報の収集・現況調査・境界確認等の森林所有者の合意形成等活動への支援を行います。

(3)水産業

(ア)水産資源の安定的確保と漁業基盤の整備

(新規) 遊木漁港改良事業【水産・商工振興課】 1,100万1千円

遊木漁港内の市場前の岸壁に小型船の突入防止柵を設置し、小型船が市場に陸揚げする際の安全を図ります。

(増額) 遊木地区漁港漁村環境整備事業【水産・商工振興課】

1億2,810万1千円(1億710万1千円)

遊木漁港内に建設予定の新たな魚市場の完成後、漁業者等が安全、安心に活動できるように、北防波堤を延長して港内の静穏度向上を図ります。

(増額) 水産物供給基盤機能保全事業【水産・商工振興課】 4,725万4千円(800万円)

遊木漁港、磯崎漁港の機能保全を行うために必要な機能保全計画を策定し、計画に基づき機能保全工事を行います。

(継続) 遊木漁港機能強化事業【水産・商工振興課】 5,250万1千円

遊木漁港内の主要な岸壁、防波堤等について、耐震診断に基づき地震・津波対策工事を行います。

(継続) 水産多面的機能発揮対策事業【水産・商工振興課】 20万円

地域活動組織が実施する水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する活動(藻場の環境保全、沿岸域の環境保全など)について支援を行います。

(継続) 種苗放流事業【水産・商工振興課】 377万2千円

トラフグ、ヒラメ、マダイの放流に加え、魚価が高く放流後の定着性のあるカサゴの放流を実施し、水産資源の維持・増大と漁家所得の向上・安定を図ります。

(イ)ブランド化と輸出の拡大

(継続) 漁業6次産業化推進事業【水産・商工振興課】 44万8千円

漁業関係者等と産地協議会を設置し、漁業の6次産業化に資する取組を行います。

(ウ)後継者育成

(継続) 地域おこし協力隊漁業後継者育成事業【水産・商工振興課】 391万7千円

I・Jターン者を受け入れ、一本釣り漁などの個人漁家経営者のもとで修業を行ってもらい、新たな漁業者を確保します。

(継続) 漁業担い手対策事業【水産・商工振興課】 164万円

漁業経営体に雇用されたI・Jターン新規漁業就労者の家賃を2年間助成します。

(継続) 漁業新規就業者支援事業【水産・商工振興課】 36万円

熊野漁協による漁業新規就業者支援事業に対し補助を行います。

(エ)内水面漁業の振興

(継続) 漁協淡水魚放流事業【水産・商工振興課】 135万円

水産動植物の増殖保護と漁獲高の向上を図るため、大又川飛鳥五郷、紀和町、北山川神川の各漁協によるアユ、ウナギ、アマゴの放流に対し、助成を行います。

②保健・医療・福祉の充実 「支え助け合い、健やかにいきいきと暮らせるまち」

1 支え合い助け合う福祉の充実

(1)高齢者福祉

(ア)高齢者の健康づくり

(新規) くまの魅力再発見！男性シニア健康ハイキング事業【健康・長寿課】5万4千円

男性高齢者を対象としたハイキングを開催することで、外出する楽しみを提供し、健康意識を高めてもらいます。

(継続) 介護予防ケアマネジメント事業【健康・長寿課】4,723万5千円

介護予防事業、新予防給付の対象となる高齢者の把握を行い、対象者に応じた介護予防のケアマネジメントを行います。

(継続) 介護予防二次予防事業【健康・長寿課】718万5千円

要介護状態の予防のため、要介護状態になる可能性の高い高齢者の把握や評価をし、運動機能の向上、栄養相談、口腔機能改善などを実施します。

(継続) 介護予防一次予防事業【健康・長寿課】2,956万6千円

65歳以上の高齢者に対する健康相談や、高齢者伝承遊び普及、水中運動、筋力向上トレーニングなどを実施し、生活習慣改善及び要介護予防につなげます。

(イ)高齢者の生きがいと社会参加の促進

(増額) 高齢者サロン事業【健康・長寿課】178万円(61万1千円)

高齢者による高齢者のための憩いのサロンを運営、開催し、高齢者に外出する楽しみを提供します。

(継続) 若返りクラブ事業【健康・長寿課】144万円

高齢者がいつまでも地域で元気に過ごすために、外出の機会を増やし、長く活動できる趣味と将来にわたって助け合える仲間づくりの場として支援していきます。

(ウ)共に支え合える地域社会づくり

(新規) 認知症カフェ事業【健康・長寿課】30万円

認知症の人と家族、支援者とボランティアなどの地域住民が交流し、さまざまな活動を通してリフレッシュすることができる場所を展開します。

(新規) 認知症啓発推進事業【健康・長寿課】 19万9千円

認知症についての専門医等による講演や映画鑑賞会を行い、認知症予防への関心を高めるとともに、認知症の人や家族に対する支援者を増やし、認知症になっても住みやすい環境の整備につなげます。

(新規) 徘徊SOSネットワーク事業【健康・長寿課】 12万3千円

徘徊のおそれのある認知症高齢者等の支援を行うため、関係機関による緊急連絡体制及び支援体制を構築します。

(継続) 緊急通報装置設置事業【健康・長寿課】 33万3千円

在宅の一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置し、高齢者の急病、災害発生時の緊急時等の連絡・援助体制を確立し、不安の解消、日常生活の安全の確保により、高齢者福祉の向上を図ります。

(継続) 元気見守り事業【健康・長寿課】 190万5千円

地区社協の福祉委員を中心として、定期的な訪問やはがき、電話による見守り活動を行い、一人暮らし高齢者等の見守り、安否確認を実施します。

(継続) 食の自立支援事業【健康・長寿課】 597万9千円

在宅の一人暮らしの高齢者等に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養のバランスがとれた食事を提供するとともに、安否確認、孤独感の解消を図ります。

(エ)相談・支援体制の充実

(新規) 在宅医療・介護連携推進事業【健康・長寿課】 166万2千円

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、この地域の在宅医療・介護に携わる様々な職種(医師、看護師、歯科医師、薬剤師、介護職等)の連携ネットワークを構築するとともに、地域の特性に配慮した患者情報管理の検討や人材育成を行っていきます。

(増額) 認知症サポーター養成事業【健康・長寿課】 37万8千円(18万1千円)

講師役のキャラバンメイトを養成し、講演会・研修会を開催することで、認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを養成します。

(継続) 元気づくり推進員育成事業【健康・長寿課】 116万9千円

元気づくり推進員を育成し、健康診査やがん検診の推進、健康づくり事業のPRを行います。地域に密着した健康づくりを実施することで、市民の健康への意識を高めます。

(継続) 元気確認ふれあいノート事業【健康・長寿課】 15万3千円

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするため、75歳以上の一人暮らし高齢者で見守りを希望する方を対象に「元気ふれあい確認ノート」を配布し、見守りを希望する高齢者がどれくらい訪問を受けているか把握し、訪問頻度の少ない人に対して、今後どのような見守りを行っていくかを検討します。

(継続) 集落支援事業【健康・長寿課】 804万1千円

集落支援員を設置し、過疎集落等における高齢者の見守り活動や、高齢者サロンの支援を行います。

(継続) メタボリックシンドローム改善強化事業【健康・長寿課】 22万4千円

国民健康保険の特定保健指導の対象者に対し、個別訪問による改善のための指導などを実施して、メタボリックシンドロームの予防、改善を図ります。

(継続) 一人暮らし高齢者等安心生活確保事業(救急医療情報キット配備事業)

【健康・長寿課】 14万2千円

一人暮らし高齢者等の要援護者の有事における救急対策として、飲み薬や血液型、病歴等の医療情報や診察券、健康保険証、緊急時連絡先等の情報をキットにまとめて居宅に配備します。

(継続) 総合相談・権利擁護事業【健康・長寿課】 530万1千円

社会福祉士が中心となり、高齢者の実態把握、総合相談・支援及び権利擁護に関する業務を行います。

(継続) 介護用品支給事業【健康・長寿課】 365万5千円

重度の介護状態にある高齢者を自宅で介護している市民税非課税世帯の家族に対し、介護用品を支給します。

(継続) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業【健康・長寿課】 502万9千円

地域のケアマネージャーに対する相談、資質向上のための研修や制度施策に関する情報提供、支援困難事例への助言、包括的・継続的なケア体制の構築を行います。

(2)障がい者福祉

(ア)地域生活への移行支援

(増額) 障がい者自立支援事業【福祉事務所】 4億5,897万7千円(4億2,756万6千円)

障がいのある方々に対して、居宅でのホームヘルプサービスや施設でのサービスを提供するほか、補装具や日常生活用具を支給することにより、自立した生活を支援します。

(継続) 障がい者相談員設置事業【福祉事務所】 5万円

身体障がい者及び知的障がい者の更生援護に関し、本人又はその家族等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うとともに、障がい者地域活動の推進、関係機関の業務に関する協力、障がい者に関する援護思想の普及を行うことにより、障がい者の福祉の増進を図ります。

(継続) 障がい者(児)紙おむつ給付事業【福祉事務所】43万2千円

在宅生活している重症心身障がい者(児)に対して、紙おむつを給付します。

(イ) 就労支援と社会参加

(継続) 訓練施設等通所交通費補助事業【福祉事務所】170万1千円

在宅の障がい者、知的障がい者及び精神障がい者が訓練施設等に通所するための費用の一部について補助を行います。

(継続) 重度障がい者等管外施設送迎費補助事業【福祉事務所】17万円

市外施設を利用する重度障がい児(者)に対する移送費用について、補助を行います。

(3) 子育て支援

(ア) 母と子の健康づくり

(増額) 特定不妊治療費助成事業【健康・長寿課】55万円(50万円)

不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する経費の一部を助成します。

(継続) 不育症治療費補助事業【健康・長寿課】15万円

不育症治療費に要する費用の一部を補助し、不育症治療を受けた方の経済的負担を軽減します。

(継続) 風しん予防接種助成事業【健康・長寿課】5万円

妊娠を希望する女性または家族に対し、風しん予防接種費用の一部を助成します。

(継続) 予防接種事業【健康・長寿課】4,724万8千円

予防接種法、結核予防法に基づき、四種混合、三種混合、BCG、二種混合、日本脳炎小児肺炎球菌、子宮頸がん、ヒブ等の予防接種を行います。

(継続) 少子化対策・妊婦一般健康診査事業【健康・長寿課】1,156万7千円

母子保健のしおりを発行するとともに、自己負担なしで受診していただける妊娠中14回の健康診査を医療機関に委託して行います。

(継続) 保育所フッ化物洗口事業【福祉事務所】 34万6千円

虫歯予防のため、保育園児によるフッ化物洗口(うがい)を行います。

(継続) 小学校フッ化物洗口推進事業【教育委員会】 44万3千円

虫歯予防のため、モデル校2校の小学生によるフッ化物洗口(うがい)を行います。

(継続) 幼稚園フッ化物洗口推進事業【教育委員会】 34万1千円

虫歯予防のため、幼稚園園児によるフッ化物洗口(うがい)を行います。

(継続) 幼児フッ化物塗布推進事業【健康・長寿課】 71万8千円

虫歯予防のため、1歳6か月、2歳6か月、3歳児にフッ化物塗布を行います。

(継続) 麻しん、風しん予防接種推進事業【健康・長寿課】 307万6千円

麻しん、風しんの予防接種を強化し、公衆衛生の向上及び増進につなげます。

(継続) 任意予防接種補助事業【健康・長寿課】 52万1千円

任意予防接種のうち、MR、麻しん、風しん、高齢者肺炎球菌に要する費用の一部を補助します。

(継続) ロタウイルス予防接種助成事業【健康・長寿課】 131万8千円

ロタウイルスの罹患や重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。

(継続) おたくふかぜ予防接種助成事業【健康・長寿課】 24万7千円

おたくふかぜの罹患や重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。

(継続) 食育推進事業【健康・長寿課】 12万2千円

幼児とその保護者に対して、親子料理教室などを開催し、親子で食に関する正しい習慣を身につけ、生活習慣病を予防します。

(イ)安心して産み育てられる環境づくり

(新規) 産後ケア事業【健康・長寿課】 5万4千円

育児不安が強く、きめ細かなサポートが必要な人に対し、心身のケアや育児サポート等の支援を行います。

(新規) 井戸保育園耐震補強事業【福祉事務所】 2,313万円

社会福祉法人ひまわり会が運営する「井戸保育園」の耐震補強工事を行います。

(増額) 放課後児童対策事業【福祉事務所】 1,822万2千円(1,810万6千円)

保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に

施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。

(増額) 少子化対策・ひとり親家庭自立支援事業【福祉事務所】 171万円(135万円)

くまのっ子学童クラブに入所するひとり親家庭の保育料の2分の1を補助します。

(増額) 熊野市ファミリーサポートセンター事業【福祉事務所】 254万6千円(245万6千円)

ファミリーサポートセンターを設立し、児童の預かりについて連絡・調整を行います。

(増額) こども発達支援事業【福祉事務所】 1,712万6千円(595万2千円)

保健、福祉、教育の3部局が連携して「こども発達支援室」を福祉事務所内に設置して、支援を必要とする子どもに対して途切れのない支援を行います。

(継続) 中学生・高校生等医療費助成事業【市民保険課】 978万3千円

子育てを行っている世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境を整えるため、医療費の助成を中学生、高校生等まで拡大します。中学生は医療費の自己負担を無料に、高校生等(18歳の年度末まで)は医療費の自己負担を現在の3分の1とします。

(継続) 障がい児通所支援事業【福祉事務所】 2,905万6千円

障がいのある子どもに対して、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等を行います。

(継続) 私立保育所延長保育促進事業【福祉事務所】 970万6千円

就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保護者の希望に応じて、ひまわり保育園、井戸保育園で19時までの延長保育を実施します。

(継続) 少子化対策・子育て家庭保育サポーター利用助成事業【福祉事務所】 78万円

子育ての不安感、孤立感を解消するため、小学校就学前の乳幼児を養育している家庭が保育サポーターを利用した場合、利用料の2分の1、ひとり親家庭の場合は対象を小学6年生まで拡大し、利用料の4分の3を助成します。

(継続) ひまわり保育園運営費補助事業【福祉事務所】 631万円

ひまわり保育園に対して職員研修費や保育士等の雇用、低年齢児保育の実施などに要する経費の一部を補助し、保育サービスの充実を図ります。

(継続) 子育て支援センター事業【福祉事務所】 1,059万9千円

地域全体で子育てを支援するため、金山保育所内に子育て支援センターを設置して、保護者の育児不安や悩みに対する電話・面接相談、子育てサークル等への支援及び情報提供を行い、子育て支援を行います。

(継続) 児童手当給付事業【福祉事務所】 2億1,557万3千円

3歳未満の子ども一人につき月額1万5千円を、3歳以上小学校修了までの子ども(第1子、第2子)は月額1万円、3歳以上小学校修了までの子ども(第3子以降)は月額1万5千円、中学生は月額1万円を支給します。所得制限以上の方には月額5千円を支給します。

(継続) 出会いの広場開催事業【福祉事務所】 30万円

男女の出会いの場を作るため、出会いの活動を推進する団体が行うパーティー開催等にかかる経費の一部を補助します。

(継続) チャイルドシート購入費補助事業【福祉事務所】 42万円

6歳未満の乳幼児のために購入したチャイルドシートの購入者に対し、助成を行います。

(継続) 少子化対策・多子家庭応援事業【福祉事務所】

18歳未満の子どもが3人以上いる世帯で、第3子以降が保育所に入所する場合、保育料を第3子は月額5千円、第4子は月額7千円、第5子以降は月額1万円をそれぞれ減額します。

(継続) 少子化対策・土曜日延長保育事業【福祉事務所】

引き続き土曜日の開所時間を延長し、保育サービスの充実を図ります。

①土曜日午後5時まで延長

金山

②土曜日午後1時まで延長

新鹿、木本、五郷、入鹿

(継続) ひとり親家庭高等技能訓練促進事業【福祉事務所】 414万2千円

ひとり親家庭の父または母が就職の際有利になるよう、かつ生活の安定に資する資格の取得を推進するため、看護師、介護福祉士等の資格を取得する経費の一部を助成します。

(継続) ひとり親家庭自立支援教育訓練給付事業【福祉事務所】 20万円

ひとり親家庭の父または母の主体的な能力開発の取り組みを支援し、ひとり親家庭の自立の促進を図るため、就業に結びつく可能性が高く、国が定める講座等の受講費用の一部を助成します。

(継続) 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業【福祉事務所】 22万5千円

小児慢性特定疾患児に対して、特殊寝台等の日常生活用具を給付します。

(継続) 少子化対策・ふるさと商店街子育て支援事業【水産・商工振興課】 4万5千円

18歳未満のこどもが3人以上いる世帯に対して、市内の協賛店舗で買物することで、その購入額に応じてレインボー商品券と交換できるサービスが受けられるパスポートを発行します。

(継続) 子育て世帯臨時特例給付金支給事業【福祉事務所】 884万5千円
平成26年4月からの消費税引き上げに伴い、子育て世帯に対し、現金を給付します。

(ウ)地域や社会で子育てを支える環境づくり

(継続) 老人とのふれあい事業【福祉事務所】 58万3千円
保育園児と地域の老人との季節行事や手作り玩具の製作・伝承遊び等を通じてふれあいを図り、子どもには「人を敬う心」を醸成するとともに、高齢者の生きがいづくり、社会参加を促進します。

(4)社会保障等

(ア)福祉医療

(継続) 障がい者医療費助成充実事業【市民保険課】 152万3千円
療養手帳所持者の医療面での負担軽減を図るため、療養手帳A最重度・重度に上乗せして、B中度所持者の療養費を助成します。

(イ)生活支援

(新規) 生活困窮者自立支援事業【福祉事務所】 392万9千円

将来的に生活困窮におちいると見込まれる人に対して、各関係機関が包括的な支援を実施し、生活困窮問題の解決を目指します。

(継続) 臨時福祉給付金支給事業【福祉事務所】 4,564万7千円
平成26年4月からの消費税引き上げに伴い、低所得者に対し、現金を給付します。

2 健康長寿の推進

(1)健康づくり

(ア)健康づくり意識の向上

(新規) 健康増進ポイント事業【健康・長寿課】 153万1千円

健診や健康づくりに関する事業への参加に応じて健康ポイントを集め、集めたポイントに応じて商品等と交換できるようにします。また、ウォーキングの習慣化をめざし、毎週水曜日はウォーキングデーと意識してウォーキングを心掛けることをPRします。

(新規) 男性のための肉体改造教室事業【健康・長寿課】 22万4千円

男性にターゲットを絞った運動教室を開催し、生活習慣病予防の啓発と実践を行い、健康づくりへの意識を高めます。

(新規) ノルディックウォーク教室事業【健康・長寿課】 11万5千円

様々な年代の人に効果があるノルディックウォークの教室を開催し、運動習慣の啓発と普及を図ります。

(新規) まちなかウォーキングコース事業【建設課】 27万4千円

市街地においてウォーキングする方が多い通りに歩行距離等の目安となる目印を設置し、健康づくりを図ります。

(増額) がん検診事業【健康・長寿課】 1,651万4千円(1,539万4千円)

がんの早期発見、早期治療を図るため、集団(検診車)、個別(医療機関)によるがん健診を行います。

(増額) がん検診推進事業【健康・長寿課】 244万5千円(202万3千円)

がん健診の受診率を高めるため、啓発活動を実施したり、予防のための生活習慣についてPRなどを行います。また、乳がん、子宮がん、大腸がんの対象者に検診手帳、クーポン券と共に受診案内を送付し、有効期限内に受診した方に健診費用を補助します。

(継続) 骨粗しょう症予防事業【健康・長寿課】 2万9千円

加齢とともに骨密度が低下しやすい女性を対象に骨密度チェックを実施し、健康教育を施すことによって、将来骨粗しょう症になることを防ぎます。

(継続) 歯周疾患検診事業【健康・長寿課】 13万6千円

歯を失う最大の原因になっている歯周疾患の予防と早期発見を行うため、40歳、50歳の節目の年齢の方に検診、保健指導を行います。

(イ) 生活習慣病予防

(継続) 健康相談・意識啓発・訪問指導事業【健康・長寿課】 30万円

健康診査受診者に対して個別相談、事後指導通知及び家庭訪問を実施し、本人やその家族に対し必要な保健指導を行います。

(2)医療体制

(ア)地域医療体制の充実

(新規) 五郷診療所、荒坂診療所医療機器整備事業【健康・長寿課】 1,123万円

五郷診療所にレントゲン装置、心電計、荒坂診療所に薬の分包機を整備し、医療体制を

充実します。

(イ)救急医療体制の充実

(新規) 救急事業地域メディカルコントロール体制構築事業【消防署】 20万円

救急救命士が救急のためにできる行為の範囲が拡大されるため、専門的な検証医師を確保して事後検証を行い、救急医療体制を充実します。

(新規) AED更新事業【消防署】 116万7千円

社会福祉協議会3施設(ふれあいセンター、高齢者福祉センター、飛鳥五郷デイサービスセンター)のAEDを更新し、救急体制を充実します。

(増額) 救急救命士養成事業【消防署】 407万9千円(327万8千円)

平成27年度においても1人養成を行います。また、現在救急救命士の資格を所有している隊員については、順次気管挿管の実習を実施します。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

1 市民文化の創造

(1)文化芸術

(ア)文化芸術に触れる機会の提供

(継続) 文化交流センター企画事業【教育委員会】 58万3千円

文化交流センターにおいて展示会を企画・実施するとともに、来館者参加型のイベントを開催します。

(継続) 文化公演実施事業【教育委員会】 954万8千円

芸能文化に接する機会の少ない当地方において、芸能文化を鑑賞する機会をつくるとともに、地域文化の創作・育成を目指す企画も取り入れ、市民文化の向上を図ります。

(継続) 図書館企画事業【教育委員会】 75万1千円

図書館において、読書感想文コンクール、子どもの心づくり講座等を実施します。

(イ)文化芸術活動の場の提供

(新規) 市民会館電気室改修事業【教育委員会】 980万円

市民会館地下電気室内の受変電設備を更新し、安心して施設を利用できるようにします

(新規) 市民会館舞台機構改修事業【教育委員会】 730万円

市民会館舞台の吊物装置の改修及び取替えを行い、安心して施設を利用できるようにします

(新規) 鉾山資料館電気室改修事業【教育委員会】 70万円

鉾山資料館の電気設備を改修し、安心して施設を利用できるようにします

(継続) 図書館図書購入事業【教育委員会】 2,000万円

図書館図書を購入します。

(ウ)文化的資源の継承と活用

(増額) 紀和鉾山資料館体験学習事業【教育委員会】 38万9千円(13万2千円)

鉾山ズリ場や坑道での体験学習事業を引き続き実施するほか、熊野の石に描いた「金魚絵」の展示会やトリックストーンの企画展などを行い、鉾山への関心を深め、資料館の魅力

発信につなげます。

(継続) 熊野街道歴史の道整備活用推進事業【教育委員会】 161万4千円

世界遺産登録されている熊野古道の清掃、枝払い等を行い、きれいに保つことによって、イメージアップを図り、来訪者の増加につなげます。

(2)国際交流

(ア)国際交流の推進

(継続) 国際交流推進事業【市長公室】 166万2千円

姉妹都市であるソレント市とバストス市との交流を推進します。また、ソレント市及びバストス市からの児童研修生の受け入れを行います。

(継続) 児童海外研修事業【教育委員会】 300万円

姉妹都市であるソレント市に小学生5人を派遣します。

(3)地域間交流

(ア)友好都市との交流推進

(継続) 友好都市交流事業【市長公室】 17万1千円

友好都市である奈良県桜井市との友好を深めるため、熊野市からは「ウォーキングフェスティバル」や「さくらい農・商ふれあいフェスタ」などへ、桜井市からは「熊野大花火大会」などへの参加をはじめ各種交流事業を行います。

(イ)他地域との交流推進

(継続) 他地域交流検討事業【市長公室】 78万6千円

宮崎県日向市とは、碁石(那智黒石とハマグリ)や神武天皇東征の出発地と到着地などでつながりがあることから、友好都市の実現を視野に入れた各種交流事業を行います。

2 生涯学習社会の形成

(1)学校教育(義務教育)

(ア)学力向上の推進

(新規) グローバル体験事業【教育委員会】 10万円

夏休みや冬休みにALTによる英会話教室や英語イベントなどを行い、英語の世界を楽しく体験させることにより、グローバル社会に対応できる児童生徒の育成を目指します。

(新規) 社会科副読本改訂事業【教育委員会】 123万1千円

市内各小学校で使用している「わたしたちの熊野市」の改訂を行い、各資料のデータを新しいものにより、学習効果・学力の向上を図ります。

(増額) 学力向上支援事業【教育委員会】 43万4千円(33万4千円)

小中学校において標準学力調査等を実施し、その分析結果に基づく授業改善とともに、公開授業等を行うことで、児童・生徒の学力向上を目指します。

(継続) 外国語指導助手(ALT)配置事業【教育委員会】 1,620万5千円

外国語指導助手(ALT)を3名体制とし、市内小・中学校の児童・生徒と総合的な学習の時間、英語の時間等において交流、学習を行うことにより、英語教育を充実します。

(継続) 学力向上特別支援事業【教育委員会】 40万円

木本中学校が実施している学力向上への取組に対して、支援を行います。

(イ) 教職員の資質の向上

(継続) 学力向上推進研修事業【教育委員会】 12万1千円

全国学力学習状況調査の結果を受け、研修会を開催して教員の指導力を高め、授業方法の工夫と改善につなげます。

(ウ) 心の教育の推進

(新規) 学校における囲碁教室事業【教育委員会】 17万4千円

市内の小学校において、児童生徒が囲碁に親しむ教室を開催し、集中力や忍耐力、相手を思いやる気持ちなどの豊かな心や生きる力を育みます。

(継続) いじめ対策事業【教育委員会】 48万2千円

いじめを未然に防止するために学級満足度調査(QU調査)を実施して、学級の中で子どもたちの人間関係を明らかにし、課題を解決するため適切な指導を行います。

(継続) 小中学校学級用図書購入事業【教育委員会】 208万8千円

児童生徒の読書の量と質の向上のため、学級用図書を購入します。

(エ) 特別支援教育の推進

(継続) 臨時特別支援教育支援員設置事業【教育委員会】 4,059万7千円

情緒、知的、身体的障がい及び発達障がい等の支援が必要な児童生徒に支援員を配置します。

(オ) 安全・安心な学校環境の整備

(新規) 中学校給食実施事業【教育委員会】 1億3,366万6千円

山間部中学校(飛鳥中学校、五郷中学校)に学校給食を実施します。また、木本中学校、有馬中学校の給食を実施するため、木本中学校の教室を改修し、調理場とするための設計・改修工事を行います。

(新規) 小学校校舎等改修事業【教育委員会】 1,186万円

新鹿小中学校のプール塗装、木本小学校のトイレ洋式化、有馬小学校の受電設備改修を行い、安全安心に学校生活を送れるようにします。

(新規) 中学校校舎等改修事業【教育委員会】 1,166万円

木本中学校体育館の床を改修し、安全安心に学校生活を送れるようにします。

(継続) 小・中学校防災教育事業【教育委員会】 21万円

大規模災害時に児童生徒及び教職員が万全に対応できるよう、地域の実態に応じた防災教育及び防災対策を行います。

(継続) スクールバス運行事業【教育委員会】 1,533万8千円

遠距離通学する生徒の通学の安全を確保するため、新鹿小中学校、飛鳥小学校、入鹿小中学校及び熊野川小中学校へ通う生徒のためにスクールバスを運行します。

(2) 学校教育

(ア) 高等学校等への要請と協力

(継続) 奨学金貸付事業【教育委員会】 480万円

大学、高等専門学校、専修学校で経済的理由により就学困難な生徒に対し、月額5万円を奨学金として貸与し、卒業後に償還を受けます。

(3) 生涯学習

(ア) 多様な生涯学習機会の提供

(継続) 熊野検定事業【教育委員会】 7万2千円

市内の観光に携わる関係者(宿泊施設、飲食店、タクシー等)を始め、市民がより深く熊野の歴史や文化を知るためにセミナー等を開催し、語り部やガイドができる人材を育成します。

(継続) 生涯学習事業【教育委員会】 232万7千円

熊野の歴史を学ぶ機会や高度情報化、国際化等に対応した学習機会をつくるため、「熊野市市民大学」、「まちの人材活用事業」、「初心者パソコン教室」、「イタリア語教室」等の講座を開設します。

(4) 生涯スポーツ

(ア) 生涯スポーツの普及・促進

(増額) ヨット体験事業【教育委員会】 17万9千円(10万3千円)

小学生以上を対象にヨット体験教室を開催します。

(継続) 水泳教室事業【教育委員会】 22万7千円

大人と子どもを対象とした初級者水泳教室を開催します。

(継続) 熊野市総合型地域スポーツクラブ運営事業【教育委員会】 123万1千円

国・県が推進する生涯スポーツ社会の実現に向けて、子どもから高齢者、障がいのある人まで、様々なスポーツを愛好する人々が積極的に参加することのできるスポーツ教室等の取組を行っている総合型地域スポーツクラブに対し、助成を行います。

(継続) カヌー川下り体験事業【教育委員会】 22万7千円

小学生以上を対象にカヌーでの川下り体験を実施します。

(継続) B&Gウォーターマラソン事業【教育委員会】 1万円

紀和B&Gプールを利用して歩いた距離・泳いだ距離を、インターネットを通じて全国の参加者と競い合います。

(継続) 大紀町スイミングクラブとの子ども交流水泳教室事業【教育委員会】 5万9千円

全国ジュニアチャンピオンを有する大紀町スイミングクラブのコーチ、子どもたちを招いての交流水泳教室を開催して、地元熊野市の子どもたちとの交流を図ります。

(継続) 市民健康スポーツ祭開催事業【教育委員会】 50万円

子どもから高齢者、障がいを持つ人まで全市民を対象に積極的に参加することのできるスポーツ祭を開催し、地域の生涯スポーツ振興を図り、「市民1人1スポーツ運動」を推進します。

3 人権尊重社会の形成

(1)人権の尊重

(ア)人権問題への総合的な取組

(継続) 人権啓発事業 【市民保険課】 35万7千円

広く人権意識の高揚を図るため、人権に関する講演会とコンサートを行います。

(継続) 人権問題学習事業 【教育委員会】 20万円

人権講演会を通じて、人権啓発・人権教育を推進します。

(2)男女共同参画社会

(ア)一人ひとりを認め合う意識づくり

(継続) 男女共同参画推進事業 【市長公室】 15万9千円

男女共同参画の普及のために各種啓発活動を行います。また、東紀州5市町で連携し、持ち回りで映画を上映します。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

1 美しく魅力ある景観の整備

(1)土地利用

(ア)適正な土地利用の推進

(増額) 地籍調査事業【建設課】 998万円(783万円)

道路整備計画予定地における公図の混乱を解消し、道路の整備促進を図ります。

(2)市街地の整備

(ア)計画的な市街地の整備

(新規) スマートウェルネスシティ検討事業【市長公室】 15万8千円

健康づくりと中心市街地の活性化に関して、積極的かつ先進的に取り組んでいる自治体との情報交換を行います。

(増額) 防犯灯設置事業【建設課】 210万円(175万円)

区、自治会などが防犯灯の新設する際や、LED防犯灯への改修費用の一部に対して補助を行い、市内防犯灯のLED化を進めます。

(継続) オール熊野世界NO. 1フェスティバル開催事業【市長公室】 400万円

熊野市駅前において、市内各地域の住民同士の絆の再確認や地域内の活力再生、市全体のPRのため、全市民参加型のイベントを実施します。

(継続) 駅前周辺街並景観整備事業【建設課】 125万円

駅前周辺において、景観に配慮した建物の整備等に対し助成を行い、統一化した空間づくりの推進を図ります。

(3)花のまちづくり

(ア)花いっぱい運動の普及

(継続) 花いっぱい運動事業【市長公室】 117万円

育苗施設を活用した花づくり、市内の花グループで組織する「くまの花いっぱいネットワーク」の事業に対して助成を行い、「花のまちづくり」を推進します。

2 安全で快適な居住環境の充実

(1) 防 災

(ア) 地域の自主防災組織等の強化

(継続) 自主防災組織アマチュア無線免許取得事業【防災対策推進課】45万5千円
自主防災組織がアマチュア無線の免許を取得する費用に対して補助を行います。

(継続) 自主防災組織資機材整備事業【防災対策推進課】50万円
防災資機材を整備する自主防災組織に対して補助を行います。

(イ) 防災・減災体制の充実

(新規) 防災意識啓発事業(講演会)【防災対策推進課】5万9千円

東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県多賀城市の職員を招いて震災の経験や教訓について聞き、市民の防災意識の向上を図ります。

(新規) 防災意識啓発事業(漫才)【防災対策推進課】28万4千円

環境省推薦の漫才師、林家ライス・カレー子さんと呼び、防災漫才を実施します。笑いを交えた防災の話を聞き、市民の防災意識の向上を図ります。

(新規) 地域ぐるみの災害時要援護者支援事業【防災対策推進課】19万4千円

地域ぐるみの災害時要援護者対策の講演を行うとともに、避難行動要援護者名簿を基に、地域内の避難場所となりうる家屋などの支援対策を検討します。

(新規) 円滑な避難場所開設事業【防災対策推進課】9万2千円

風水害時の避難場所は110か所ありますが、鍵はそれぞれの地域の責任者が管理しています。そこで、合鍵を作製し、防災対策推進課でも保管し、迅速に避難場所の開設ができるようにします。

(新規) 宿泊施設用津波ハザードマップ・避難場所作成事業【防災対策推進課】1万円

津波浸水区域の宿泊施設と相談の上、避難場所を定めた津波ハザードマップを作成し、配布します。

(新規) 福祉避難所資機材整備事業【防災対策推進課】85万円

福祉避難所については、たちばな園、むつみ苑、ケアホーム熊南の3施設で避難所生活に適応できない高齢者や要援護者の受入れを行うこととなっていますが、福祉避難所に避難した住民が安心して避難所生活を送ることができるように資機材を整備します。

(新規) 福祉避難所運営検討事業【防災対策推進課】

災害時に福祉避難所が有効に機能するために、運営マニュアルを作成します。

(新規) 風水害対策気象情報収集整備試行事業【防災対策推進課】 129万6千円

気象情報を㈱ウェザーニュースの気象予報士と直接電話で確認できるようにして、より詳細な気象情報を得られるようにし、情報周知や初動体制の迅速化、地域の特性を考慮した避難勧告等の判断を実現できるようにします。

(新規) 災害対策本部再生可能エネルギー等導入事業【防災対策推進課】

2, 885万3千円

市役所本庁舎に太陽光発電装置と蓄電池装置を設置し、災害による電力喪失時に災害対策本部としての機能維持のための電力を確保します。

(新規) 木本中学校再生可能エネルギー等導入事業【教育委員会】 3, 214万1千円

木本中学校に太陽光発電装置と蓄電池装置を設置し、災害による電力喪失時に避難所としての機能維持のための電力を確保します。

(増額) 防災公園整備事業【建設課】 3億2, 871万7千円(1億6, 681万円)

オレンジホテル跡地に、スポーツ集客のための野球場、室内練習場を備え、大規模災害時には復旧・復興活動の拠点となる公園を整備します。平成27年度はグラウンド整備、雨水排水工事等を行います。

(増額) 防災・安全交付金事業【建設課】 9, 910万6千円(8, 679万2千円)

道路利用者の安全と災害時における輸送経路を確保するため道路施設の危険個所対策を推進し、地域防災力の向上を図ります。平成27年度は、深山神社3号線、千儀鬼ヶ城線の改良事業を実施します。

(増額) 災害時用非常食・飲料水整備事業【防災対策推進課】 129万8千円(81万8千円)

大規模災害時の避難者のための非常食及び非常飲料水を備蓄します。

(継続) 避難所運営マニュアル作成と円滑な運営モデル事業【防災対策推進課】

地域の実情と特性に応じた避難所運営マニュアルを、三重大学・中部電力との産学官連携により遊木町で作成し、円滑な運営ができるようにします。

(継続) 防災対策介護予防健康体操事業【防災対策推進課】

三重大学・中部電力との産学官連携により、ゴムバンドを使った健康体操を二木島町、二木島里町で実施し、「自助」「互助」による円滑な避難所運営ができる地域づくりを目指します。

(継続) 新鹿海水浴場津波避難訓練事業【防災対策推進課】 5万円

津波避難訓練を実施し、海水浴客や関係者の防災意識の向上を図ります。

(継続) 被災建築物応急危険度判定事業【建設課】 20万8千円

地震によって被害を受けた建築物の危険性を速やかに判定して情報提供するため、職員の資格取得を行い、大規模災害に備えます。

(継続) 防災啓発指導員事業【防災対策推進課】 571万7千円

防災啓発指導員を配置し、耐震診断・家具転倒防止の啓発・受付をはじめ、家具転倒防止器具の取り付けなどを行います。

(継続) 津波避難タワー整備事業【防災対策推進課】 7,760万円

近隣に高台などが無い地域の住民の生命を守り、身体の安全を確保するため、有馬町志原尻地区に津波避難タワーを建設します。

(継続) 急傾斜地崩壊対策事業【建設課】 450万円

甫母地区外3地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。

(継続) 災害時要援護者避難対策推進事業【防災対策推進課】 42万9千円

災害時に要援護者の被害を減少させるため、木本町内の2地区で個別避難計画の作成や避難訓練を実施します。

(継続) 避難誘導標識設置事業【防災対策推進課】 299万円

地震発生時、津波から速やかに避難ができる体制を整えるため、避難場所の表示、避難誘導等の看板を整備します。

(継続) 家具転倒防止器具取付事業【防災対策推進課】 60万9千円

災害要援護者の地震対策として、家具転倒による被災を防止するため、L字型金具等を取り付けます。また、自主防災組織で取り付ける場合、対象者への器具の無償配布を行います。

(継続) 津波避難路ブロック塀等除去改修事業【防災対策推進課】 75万円

津波浸水予想地域の避難路に面するブロック塀等の除去、改修に対し補助を行います。

(継続) 木造住宅耐震補強補助事業【防災対策推進課】 2,100万円

地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震補強工事を行う住宅に対して補助を行います。

(継続) 木造住宅耐震補強設計費補助事業【防災対策推進課】 400万円

木造住宅の耐震補強設計費への補助を行います。

(継続) 停電時避難誘導灯整備事業【防災対策推進課】407万2千円

災害時に停電しても自動的に点灯する街灯を整備することで、停電時の夜間の避難に備えます。

(継続) 耐震シェルター設置費補助事業【防災対策推進課】400万円

地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の居室等に耐震シェルター設置する場合に補助を行います。

(継続) 避難路整備事業【建設課】1,500万円

大規模地震・津波時の速やかな避難を図るため、避難路における階段手すり整備や路面の補修などを行います。

(継続) 木造住宅耐震診断等事業【防災対策推進課】463万2千円

昭和56年5月31日以前着工の木造住宅について、市民からの希望を募り耐震診断を実施します。

(継続) 緊急時用浄水器整備事業【防災対策推進課】76万7千円

大規模災害時に孤立が予想される地区において、緊急時用浄水器の整備を行います。

(2)消 防

(ア)消防力の充実強化

(新規) 高規格救急車更新事業【消防署】3,668万5千円

本署に配備している高規格救急車を更新並びに、高度救命処置用資機材等を更新し、消防力の充実強化につなげます。

(イ)消防団の充実強化

(新規) 分団車庫改築・改修事業【消防署】2,108万円

老朽化した飛鳥分団小阪車庫を浸水のリスクの低い場所に改築するほか、木本分団車庫の外壁改修を行い、消防力の充実強化につなげます。

(新規) 小型動力ポンプ付積載車更新事業【消防署】950万8千円

老朽化した神川分団神上の小型動力ポンプ付積載車を更新し、消防力の充実強化につなげます。

(新規) 小型動力ポンプ更新事業【消防署】81万円

老朽化した小森分団に配備している小型動力ポンプを更新し、消防力の充実強化につなげます。

(新規) 消防分団員被服整備事業【消防署】 310万9千円

消防分団員の雨合羽、Tシャツ、ヘルメット、ヘッドライトを購入し、活動力強化につなげます。

(3)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(新規)空き家活用促進事業【市長公室】 593万2千円

UIターン者の受入れを促進するため、市内の空き家調査を実施します。

(継続)空き家情報公開事業【水産・商工振興課】 3万7千円

主に市内の山間部・海岸部にある空き家を売りたい・貸したいという人を募集し、市のホームページなどで空き家情報を公開し、買いたい・借りたい人を募集します。

(継続)市営住宅修繕事業【建設課】 350万円

各市営住宅の修繕を行います。

(4)道 路

(ア)市道の整備推進

(新規)側溝・舗装修繕事業【建設課】 2億3,460万8千円

生活に密着した道路の側溝や舗装修繕を実施し、安全で安心な生活環境を構築します。

(新規)橋梁定期点検事業【建設課】 1,000万円

適切な道路管理を行うため、市道の橋梁の定期点検を実施し、異常または損傷を早期に発見し、対策の可否を判定します。

(継続)道路新設改良事業【建設課】 3,340万円

市道における車輛通行不能箇所及び通行困難箇所の解消を図ります。

(継続)道路維持事業【建設課】 6,500万円

市道における狭小な断面の側溝や、老朽化した側溝を改修し、排水性の向上や通行の安全性を確保します。

(継続)橋梁長寿命化修繕計画事業【建設課】 5,001万円

市道の重要路線及び集落孤立化の恐れのある橋梁の修繕、落橋防止を行います。

(継続) 市街地イルミネーション事業【建設課】 161万円

駅前、中心市街地を東紀州最大級の30万球の電球で飾りつけます。

(5)交通体系の整備

(ア)公共交通の確保

(増額) バス運行対策事業【市長公室】 7,600万円(7,332万5千円)

路線バス廃止後の代替交通手段確保策として、乗合バス事業者に委託し、自主運行バスを5路線運行します。

運行路線 清流・那智黒石の里線、潮風かほる熊野古道線

瀬流荘紀南病院線、熊野古道瀬流荘線、飛鳥五郷線

(継続) 生活交通路線維持費補助事業【市長公室】 210万2千円

市民の生活交通確保と交通利便を図ることを目的に、市内1路線を維持するため、三重交通(株)に対して、赤字の一部を補助します。

(継続) 福祉バス運行事業【健康・長寿課】 291万6千円

JR、バスが運行されていない須野・甫母地区、育生地区、神川地区にワゴン型乗用車を運行し、高齢者の生活利便性の向上を図ります。

(イ)地域交通体系の構築

(継続) 市街地山間部交通対策推進事業【市長公室】 1,214万1千円

市街地及び山間部(紀和町)における交通弱者の日常生活における不安を解消し、交通手段の確保を図るため、乗合タクシーを運行します。また、観光客に対する2次交通の確保を図るため、市街地観光施設及び体験施設を周遊する定時定路線型、運賃固定のバス(ワゴン車)を運行します。

(継続) 地域公共交通会議運営事業【市長公室】 31万1千円

市が運行主体となる地域公共交通の実施及び態様の検討のため、地元住民及び関係機関の間で協議を行い、合意形成を図ります。

3 環境保全の推進

(1)廃棄物処理

(ア)廃棄物の減量化

(新規) ごみ減量化市民行動計画事業【環境対策課】 706万5千円

ごみの減量化、リサイクルの推進並びにごみ処理経費の削減に結びつく事業を実施します。

(継続) 電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入費補助事業【環境対策課】 66万円
電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入者に対し補助を行います。

(イ)廃棄物処理体制の充実

(継続) 汚泥再生(し尿)処理センター建設事業【環境対策課】 4億7,618万5千円
耐用年数を経過し老朽化した現在の施設に代わる、汚泥再生処理センターの27年度までの完成を目指し、工事を継続します。

(2)環境保全

(ア)水環境・自然環境の保全

(増額) 休廃止鉱山鉱害対策事業【環境対策課】 844万5千円(826万円)
休廃止鉱山にかかる鉱害防止を図るため、紀州鉱山において坑廃水処理事業者(公益財団法人資源環境センター)が実施する坑廃水処理に要する経費の一部を助成します。

(継続) よみがえれ大又川連絡協議会活動事業【環境対策課】 12万円
大又川の水質の再生を目指して流域住民の水質浄化意識の向上等の運動を実施している連絡協議会の活動費用の一部を助成します。

(イ)地球温暖化の防止

(継続) 緑のカーテン運動推進事業【環境対策課】 34万6千円
地球温暖化の進行を抑制するため、夏場の冷房によるエネルギー消費量削減に効果がある緑のカーテン(壁面緑化)運動を推進します。

(ウ)環境美化と環境衛生

(継続) 熊野市環境美化ボランティア推進事業【環境対策課】 4万8千円
環境美化の維持を目的として、単独で環境美化を行っているボランティア団体へ清掃用具の提供、ボランティア保険の加入、サインボードの設置等の助成を行います。

⑤まちづくりの進め方

1 市民と行政の協働によるまちづくり

(1)市民参加の推進

(ア)情報の共有と広報・広聴の充実

(継続) 市施策等PR事業【市長公室】112万5千円

市が行う施策等を市民に周知することで、市が行っている事業への理解を深めます。

(継続) 広報紙内容充実事業【市長公室】12万円

広報クイズを実施し、市民参加型の広報紙として内容を充実し、市民と行政のコミュニケーションを深めます。

(継続) 市民意識調査事業【市長公室】30万3千円

市民アンケート調査で市民生活の状況や行政サービスに対する評価、満足度、ニーズを把握し行政運営に生かします。

(イ)市制10周年記念事業

(新規) 市制10周年記念事業【市長公室】164万4千円

旧熊野市と紀和町が合併して10周年を迎えるため、記念式典を開催します。

(2)地域コミュニティの育成強化

(ア)地域コミュニティ活動への支援

(新規) 五郷地域づくり補助事業【総務課】386万8千円

紀伊半島大水害により被害を受けた五郷ふれあい公園内施設の復旧を支援し、地域コミュニティの育成強化を図ります。

(増額) 地域おこし協力隊等事業【市長公室】4,074万円(2,431万8千円)

各地区へ「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」を配置し、集落機能の強化を図ります。

(増額) 移住・交流推進事業【市長公室】80万円(46万1千円)

都市部での移住・交流に関する情報発信等、都市部の移住希望者のニーズにあった移住・交流事業を推進し、定住人口の増加を目指します。

(継続) あいさつ運動推進事業【市民保険課】6万1千円

地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めます。

(イ)地域まちづくり協議会の充実

(継続) 地域まちづくり協働事業 1,332万円

各協議会において策定された総合計画に基づき、平成26年度に引き続き住民と市が協働で実施する「公助」の事業をまちづくり協働事業と位置づけ、補助金を交付するとともに、職員をアドバイザーとして協議会に参加させるなどの支援を行います。

(各地域の事業内容等についてはP61～63)

(継続) 地域まちづくり協議会活動報告事業【市長公室】5万円

オール熊野世界NO.1フェスティバルに合わせて、各地区地域まちづくり協議会の活動を文化交流センターで展示し、活動の認知度の向上、意欲高揚を図ります。

(ウ)環境整備

(新規)新鹿公民館修繕事業【教育委員会】114万2千円

新鹿公民館の窓、床等の修繕を行います。

(新規)久生屋公民館塗装事業【教育委員会】491万9千円

久生屋公民館の外壁塗装を行います。

(新規)滑地集会所修繕事業【教育委員会】31万6千円

飛鳥町滑地自治会が所有する集会所の屋根修繕費用の一部を補助します。

2 市民本位の行政

(1)行政サービスの向上と行財政改革の推進

(ア)市民に信頼され感謝される職員の育成

(継続) 職員研修事業【総務課】287万5千円

コーチング技術の習得と実践を繰り返すことにより問題点を解消し、コミュニケーションの意識を醸成していきます。職員個々のコミュニケーション能力を向上させることで分権社会にその独自性、自主性を発揮し組織力を向上させます。また、課長補佐～係長を対象にOJT研修を実施し、現場での経験から自分の意志で動き、学び、成長していく人材を育てます。

(継続) 職員企業等派遣研修事業【総務課】74万2千円

職員を民間企業に派遣し、民間企業の「顧客感覚、経営感覚」などの厳しさを研修させることにより、職員の意識改革と資質の向上を図ります。

(イ)議員の調査活動能力向上

(新規)議員調査活動能力向上事業【議会事務局】 168万円

市議会議員の調査活動能力向上のため、研修や視察時の旅費と負担金等を支給します。

3 財政健全化に向けた取り組み

(1)公債費繰上償還の実施

(ア)繰上償還を実施し、後年度公債費の負担を軽減させます。

繰上償還額 3億2,912万4千円

平成27年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的	要望額 (千円)	担当課	地区小計 (千円)
		事業の内容			
荒坂	屋外掲示板設置事業 [H26～]	情報伝達手段の整備 屋外掲示板の設置	195	市長公室	279
	熊野古道草刈り事業 [新規]	観光客受け入れ態勢の整備 熊野古道へのアクセスルートの整備	84	観光スポーツ交流課	
遊木	子供が安心して遊べる きれいな公園整備事業 [新規]	地域住民の活動拠点の環境整備 公園周辺に獣害防止策を設置し、野生動物の糞害防止を図る	1,378	建設課	1,472
	災害に強い まちづくり整備事業 [H18～]	防災意識の向上 防災講演会の開催	94	防災対策推進課	
新鹿	災害に強い まちづくり整備事業 [H19～]	避難経路の整備 避難経路への停電時避難誘導灯の設置	1,500	防災対策推進課	1,712
	津波避難対策事業 [新規]	避難経路の整備 一時避難場所への避難路の整備	62	防災対策推進課	
	あたしか 花と緑のおもてなし事業 [H24～]	町内景観の向上 町内花壇の整備	150	市長公室	
波田須	地域防災力強化事業	地域の防災力向上 避難所への進入路の確保	291	防災対策推進課	340
	徐福花の郷づくり事業 [H25～]	熊野古道と花の里によるまちづくり 植栽した花木の維持管理	49	市長公室	
磯崎	防災拠点整備事業 [H26～]	地域の防災力向上 防災拠点への防護フェンス設置	161	防災対策推進課	335
	水源地・維持整備事業 [H26～]	断水に備えた水源地の確保 非常用水源地における維持管理活動	72	防災対策推進課	
	きれいな まちづくり推進事業 [H26～]	町内景観の向上 ①プランターの設置及び花の維持管理 ②清掃活動の実施	102	市長公室	
大泊	環境美化普及事業 [H21～]	地域環境の改善 ① EMの普及を目的とした講習会・EM団子製作会の開催 ② 各家庭において培養・使用 ③ 水質検査の実施	348	環境対策課	424
	熊野古道客へのベンチプ ロジェクト事業[新規]	観光客の受け入れ態勢の整備 ①早稲田大学と連携した熊野材を活用した木製ベンチの設置	76	林業振興課	
木本	災害に強い まちづくり整備事業 [H25～]	地域防災力の向上 ①かまどベンチ(H26設置)で使用する炊出し用資材の整備 ②自主防災会と連携した炊き出し訓練の実施	79	防災対策推進課	355
	要害山緑地化整備事業 [新規]	住民の交流の場や津波避難場所の整備 要害山山頂部分の整備	276	防災対策推進課	

平成27年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的 事業の内容	要望額 (千円)	担当課	地区小計 (千円)
井戸	井戸川環境美化事業 [H17～]	地域環境の改善 ① 井戸川へのEM団子及び活性液の投入 ② 井戸川周辺の草刈と清掃活動	526	環境対策課	1,346
	井戸川憩いとふれあいの場 提供事業 [H25～]	桜の名所を演出し、地域住民に憩いとふれあいの場の創出 ① 夜桜のライトアップ ② 花見イベントの実施	20	観光スポーツ交流課	
	井戸町 歴史伝承冊子作成事業 [H26～]	町内の歴史、文化、由来等をまとめた冊子を配布し、住民の愛着を深める 町内の歴史文化由来などの調査及び冊子の作成・配布	800	教育委員会	
有馬	地域マップ作成事業 [H26～]	町内の名所・旧跡等を記した地域マップを作成し、住民の愛着を深める 地域マップの掲載内容に関する調査・検討・とりまとめ	229	教育委員会	229
久生屋	久生屋地区文化伝承事業 [H25～]	古くからの言い伝えや伝統行事を伝承する ① 言い伝えや昔話の録音 ② 音頭や踊りの撮影	27	教育委員会	762
	大前池環境美化事業 [新規]	地域環境の改善 ① EMの普及を目的とした講習会の開催 ② 大前池へのEM団子等の投入、周辺清掃活動 ③ 水質検査の実施	735	環境対策課	
金山	環境美化保全活動 推進事業 [H18～]	町内環境美化、生物保全の実施 ① 河川環境美化活動 ② ホタルの里づくり ③ メダカ池周辺の清掃・メダカの保全 ④ EM菌を活用した水質浄化活動	292	環境対策課	292
育生	とこね広場周辺整備事業 [H17～]	町内外の人達の交流と憩いの場づくり ① 果樹植栽作業 ② 立ち木手入れ・草刈り作業	799	農業振興課	994
	大丹倉遊歩道整備事業 [新規]	観光客受け入れ態勢の整備 尾川ー大丹倉間の遊歩道整備	63	観光スポーツ交流課	
	育生小学校 グラウンド整備事業 [新規]	住民の交流拠点の整備 休校中の育生小学校グラウンドを整備し住民の交流の場とする	132	教育委員会	
神川	カプトムシ公園事業 [H26～]	体験公園を整備し交流を図り活性化を目指す カプトムシが羽化する場所を公園として整備する	1,566	林業振興課	1,566
五郷	新地場産業興し研究事業 [H19～]	新たな地場産業による地域の活性化 ① 生産量向上のため、新たな苗木の植え付け ② 作業効率向上に向けた作業場の整備	519	農業振興課	519
飛鳥	飛鳥地区 高齢者生きがい対策事業 [H26～]	グラウンドゴルフを通じた高齢者の交流と生きがいづくり 交流の場となるグラウンドゴルフ場の整備	162	健康・長寿課	977
	飛鳥地区 助け合い事業 [H22～]	ボランティアグループの運営を支援 高齢者宅周辺での草刈り等の環境整備	128	健康・長寿課	
	小又地区 自然活用活性化事業 [H24～]	自然を活用した地域おこし 小又地区のピオトープ「めだかの学校」を活用した地域活性化事業	427	環境対策課	
	耕作放棄農地解消事業 [新規]	耕作放棄農地の活用による地域の活性化 耕作放棄農地におけるたかなの栽培	260	農業振興課	

平成27年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的 事業の内容	要望額 (千円)	担当課	地区小計 (千円)
上川	農作物試験栽培事業 [H24～]	新たな地場産業による地域の活性化 レンコンの試験栽培	0	農業振興課	0
入鹿	紀州鉦山選鉦場跡地 保存事業 [H25～]	観光資源周辺の環境美化 ①鉦山選鉦場跡地を観光資源として利用するための環境保全作業 ②ライトアップを行い、市内外に選鉦場跡地のPRを行う	879	観光スポーツ交流課	1,118
	入鹿地区景観整備事業 [新規]	地域の景観整備 ①荒地地の整備 ②高齢者の住宅周辺の草刈り等への協力	151	環境対策課	
	入鹿地区今昔地域暮らし 画像等保存事業[H26～]	地域の暮らしや文化に関する写真資料の保存及び展示 ①地域の過去の暮らしや文化を写した写真の公募・電子データ化保存 ②展示資料を作成し展示する	88	教育委員会	
西山	赤木城史跡と地域の イメージアップ事業 [H19～]	赤木城史跡周辺の景観保全とPR ①景観を損ねている立木の伐採 ②史跡PRのための印刷物等の作成	600	観光スポーツ交流課	600
合 計				37事業	13,320